久慈市埋蔵文化財調査報告書 第19集

久慈市内遺跡詳細分布調查報告書VI

1995.3

岩手県久慈市教育委員会

久慈市埋蔵文化財調查報告書 第19集

久慈市内遺跡詳細分布調査報告書VI

1995.3

岩手県久慈市教育委員会

久慈市には多くの埋蔵文化財が分布しています。埋蔵文化財は、郷土の歴史 を知るうえで貴重な文化遺産であり、それらを正しく理解し、保護・活用を図 り、後世に伝えていかなければなりません。

近年、各種開発事業に伴い、埋蔵文化財の発掘調査件数が増加しています。 開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図るためには、遺跡の分布状況や内容等 を把握する必要があります。そのため、当教育委員会では平成元年度から国庫 補助金及び県費補助金の交付を受けて、市内遺跡詳細分布調査を実施しており、 平成6年度は侍浜町地区を対象として調査を実施しました。

本書はその成果をまとめたものであり、今後、埋蔵文化財保護を進めるうえ での一助となれば幸いです。

調査の実施にあたり、文化庁・岩手県教育委員会文化課をはじめ、関係各位 の御指導、御協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

平成7年3月

久慈市教育委員会

教育長 長 内 俊 雄

例

- 1 本書は、平成6年度文化財保護事業として国庫及び県費補助金の交付を受けて久慈市教育委員会が実施 した市内遺跡詳細分布調査の報告書である。
- 2 調査は久慈市教育委員会が主体となり実施した。
- 3 調査体制は次のとおりである。

事務局体制 社会教育課長 岩 泉 敏 明 郷土文化係長 末 﨑 順 一 文化財調査員 千 葉 啓 蔵

調 査 体制 調 査 員 千葉啓蔵 屋外作業員 田中和子 畑中勝子 屋内作業員 田中和子 畑中勝子

- 4 石質鑑定は新田康夫氏に依頼した。
- 5 本書の編集、原稿執筆、図版作成、写真撮影等は千葉が担当した。
- 6 調査に関する資料は久慈市教育委員会が一括して保管してある。

目 次

序	文		
例	Ī		
第	I章	☆ 分布調査の概要	1
第	II 章	ī 調査結果 ·····	3
	1	侍浜町桑畑地区	3
	2	侍浜町外屋敷地区	9
	3	侍浜町本町・向町地区	13
	4	侍浜町保土沢・横沼地区 ·····	17
	5	侍浜町白前地区	22
	6	侍浜町北野地区	24
	7	侍浜町本波地区 ·····	29
	8	侍浜町長崎·堀切地区 ·····	32
	9	まとめ	34

図版目次

写真図版目次

第1図	分布調查対象範囲図	2	第1図版	桑畑地区遺跡 35
第2図	桑畑地区遺跡分布図	3	第2図版	桑畑•外屋敷地区遺跡 36
第3図	桑畑地区採集遺物(1)	5	第3図版	外屋敷地区遺跡 37
第4図	桑畑地区採集遺物(2)	6	第4図版	外屋敷地区遺跡 38
第5図	桑畑地区採集遺物(3)	7	第5図版	外屋敷・本町・向町地区遺跡 39
第6図	桑畑地区採集遺物(4)	8	第6図版	向町地区遺跡 40
第7図	外屋敷地区遺跡分布図	9	第7図版	向町・保土沢・横沼地区遺跡 41
第8図	外屋敷地区採集遺物(1)	10	第8図版	横沼地区遺跡 42
第9図	外屋敷地区採集遺物(2)	11	第9図版	横沼地区遺跡 43
第10図	外屋敷地区採集遺物(3)	12	第10図版	横沼·白前地区遺跡 ····· 44
第11図	本町・向町地区遺跡分布図	13	第11図版	白前·北野地区遺跡 ····· 45
第12図	本町・向町地区採集遺物(1)	14	第12図版	北野·本波地区遺跡 ····· 46
第13図	本町・向町地区採集遺物(2)	15	第13図版	本波・長崎・堀切地区遺跡、
第14図	本町・向町地区採集遺物(3)	16		採集遺物(1) 47
第15図	保土沢・横沼地区遺跡分布図	18	第14図版	採集遺物(2) 48
第16図	保土沢・横沼地区採集遺物(1)	19	第15図版	採集遺物(3) 49
第17図	保土沢・横沼地区採集遺物(2)	20	第16図版	採集遺物(4) 50
第18図	保土沢・横沼地区採集遺物(3)	21		
第19図	白前地区遺跡分布図	22		
第20図	白前地区採集遺物(1)	23		
第21図	白前地区採集遺物(2)	24		
第22図	北野地区遺跡分布図	25		
第23図	北野地区採集遺物(1)	26		
第24図	北野地区採集遺物(2)	27		
第25図	北野地区採集遺物(3)	28		
第26図	本波地区遺跡分布図	29		
第27図	本波地区採集遺物(1)	30		
第28図	本波地区採集遺物(2)	31		
第29図	長崎・堀切地区遺跡分布図	32		
第30図	長崎·堀切地区採集遺物 ······	33		

第 I 章 分布調査の概要

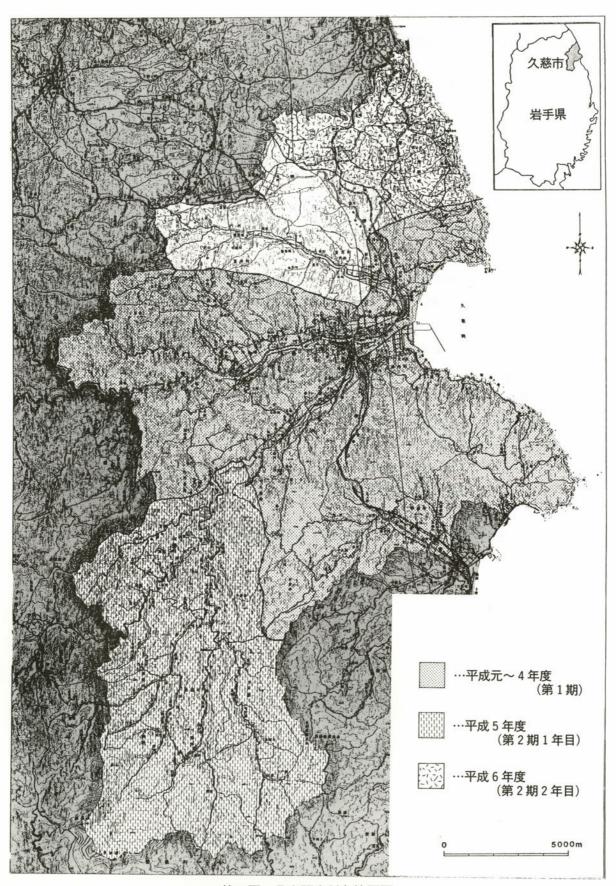
岩手県久慈市は北上山地北東部に位置し、経緯度は、東経141度38分~141度52分、北緯40度00分~40度17分である。広さは、東西21.10km、南北33.25km、面積は327.22kmである。九戸郡種市町・大野村・山形村・野田村及び下閉伊郡岩泉町に接し、東は太平洋に面する。久慈湾に注ぐ久慈川・長内川・夏井川流域・野田湾に注ぐ宇部川流域に主な集落が形成され、市域の約88%が山林原野である。気候は夏は涼しく、冬は温暖である。

久慈市内において、現在約330箇所の遺跡の所在が確認されている。主に、畑地などに利用されている箇所において遺跡の所在が確認されているが、山林地が大半を占めているため、未確認の遺跡がまだ多く存在するものと予想される。

近年、当市においても各種開発が急増しており、それらに伴う発掘調査件数も増加している。これらの各種開発と埋蔵文化財保護との調整に資するため、遺跡台帳を整備し、遺跡の保護を図ることを目的とし、当教育委員会では、第1期4年次、第2期3年次計画で国庫補助金及び県費補助金の交付を受け、市内遺跡詳細分布調査を実施している。第1期は平成元年度から平成4年度までの4年次で実施した。平成6年度は第2期3年次計画の2年目にあたり、侍浜町地区を対象として分布調査を実施した(第1図)。

今年度は踏査による分布調査を実施し、その結果、対象地区において、周知の遺跡73箇所に加え、新たに46箇所の遺跡が発見された。遺跡台帳に登録されている箇所でも、現在、旧耕地あるいは植林されているため、遺物の採集が不可能な遺跡もあった。前述したように、山林地においては遺物の採集が不可能であるため、遺跡の所在が確認できない箇所もあることから、対象地区における遺跡数はさらに増加するものと予想される。なお、これまで埋蔵文化財包蔵地として知られていたにもかかわらず、遺跡台帳に未登録であった遺跡については、新規登録として取り扱うこととした。

調査の結果は、遺跡詳細分布調査カードに記載し、当教育委員会で保管している。



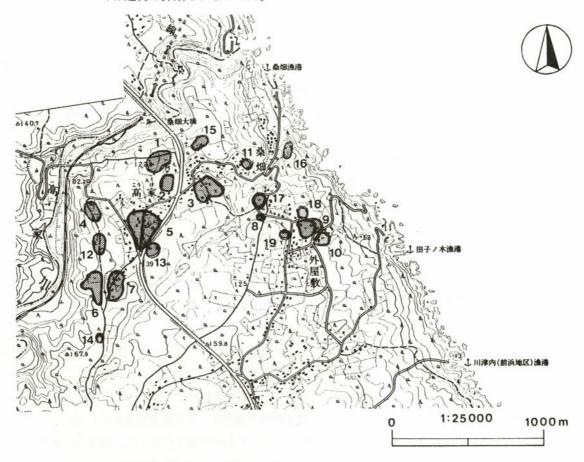
第1図 分布調査対象範囲図

第11章 調 査 結 果

1 侍浜町桑畑地区 (第2~6図、第1·2·13·14·16図版)

桑畑Ⅰ遺跡

桑畑 I 遺跡は、標高約120mの平坦面に立地する。現状は畑地及び荒れ地である。縄文時代の遺跡として台帳登録されているが、大半が休耕地で荒れ地化しており、今回の調査では遺物は採集されなかった。



番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所 在 地	備考
1	桑畑 I 遺跡	I G90.0174	散布地	縄文土器、石鏃	侍浜町字桑畑3-29	
2	桑畑II遺跡	I G90.0184	散布地	縄文土器(後期)、石鏃、フレーク	侍浜町字桑畑3-51-2	
3	桑畑Ⅲ遺跡	I G90.0198	散布地	縄文土器 (早・前期)、弥生土器	侍浜町字桑畑3-5-53	
4	桑畑Ⅳ遺跡	I G90.1110	散布地	縄文土器	侍浜町字桑畑3	
5	桑畑V遺跡	I G90.1113	散布地	縄文土器 (前・後期)、フレーク	侍浜町字桑畑3-5-65	
6	桑畑VI遺跡	I G90.1150	散布地	縄文土器	侍浜町字桑畑2	
7	桑畑VI遺跡	I G90.1161	散布地	縄文土器 (前・後期)、弥生土器	侍浜町字桑畑3-5-127	範囲拡大
8	桑畑Ⅷ遺跡	I G90.1211	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字桑畑5-3-10	
9	桑畑IX遺跡	I G90.1224	散布地	縄文土器、弥生土器(後期)、土師器	侍浜町字桑畑5-40-13	範囲拡大
10	桑畑X遺跡	I G90.1225	散布地	縄文土器 (前期)	侍浜町字桑畑5-40-30	
11	桑畑XI遺跡	I G90.0270	集落跡	縄文土器(早・前・中・後・晩期)、石匙、土師器	侍浜町字桑畑5-3	旧桑畑I遺跡
12	桑畑知遺跡	I G90.1120	集落跡	縄文土器 (前・後期)、土師器	侍浜町字桑畑2	旧外屋敷西遺跡
13	桑畑XⅢ遺跡	I G90.1134	集落跡	縄文土器(前・中期)、石斧、フレーク	侍浜町字桑畑3-5-102	旧桑畑II遺跡
14	桑畑 X Ⅳ遺跡	I G90.1180	散布地	縄文土器 (晩期)、弥生土器 (後期)	侍浜町字桑畑2	旧七小出Ⅲ遺跡
15	桑畑XV遺跡	I G90.0157	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字桑畑4-6	新規
16	桑畑 X VI遺跡	I G90.0262	散布地	縄文土器 (早・前期)、石鏃、フレーク	侍浜町字桑畑5	新規
17	桑畑 X VII遺跡	I G90.0291	集落跡	縄文土器(前・後・晩期)、石匙、石鏃、磨石、フレーク多	侍浜町字桑畑5-62-2	新規
18	桑畑 X Ⅷ遺跡	I G90.1203	散布地	縄文土器(後期)、石斧、フレーク、土師器	侍浜町字桑畑5-40-144	新規
19	桑畑XIX遺跡	I G90.1222	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字桑畑5-40-27	新規

第2図 桑畑地区遺跡分布図

桑畑II遺跡 桑畑II遺跡は、標高約110mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。 遺跡の東方は水田を挟んで沢が北流している。縄文土器、石鏃、フレークなどが採集された。

桑畑III遺跡 桑畑III遺跡は、標高約100m~110m、北から南に下る緩斜面に立地する。現状は桑畑など の畑地である。縄文時代及び弥生時代の遺跡として台帳登録されているが、今回の調査では 遺物は採集されなかった。

桑畑Ⅳ遺跡 桑畑Ⅳ遺跡は、標高約130mの平坦面に立地する。現状は山林であるため、遺物の採集は 不可能であったが、縄文時代の遺跡として台帳登録されている。

桑畑 V 遺跡 桑畑 V 遺跡は、標高約130mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は畑地及び宅地である。縄文土器、フレークが採集された。

桑畑 VI 遺跡 桑畑 VI 遺跡は、標高約150mの平坦面に立地する。現状は山林及び荒れ地であるため、遺物の採集は不可能であったが、縄文時代の遺跡として台帳登録されている。

桑畑Ⅷ遺跡 桑畑Ⅷ遺跡は、標高約140mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄 文土器が採集された。

桑畑畑遺跡 桑畑畑遺跡は、標高約100mのほぼ平坦面に立地する。現状は山林である。林道が通され 地山が露出している箇所で縄文土器が採集された。

桑畑IX遺跡は、標高約70m~90mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。 縄文土器、弥生土器、土師器、フレークなどが採集された。

桑畑 X 遺跡 桑畑 X 遺跡は、標高約70mの南東から北西に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・宅地である。縄文土器が採集された。

桑畑知遺跡 桑畑知遺跡は、標高約140mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は山林であるため、 遺物の採集は不可能であったが、縄文時代の遺跡として台帳登録されている。

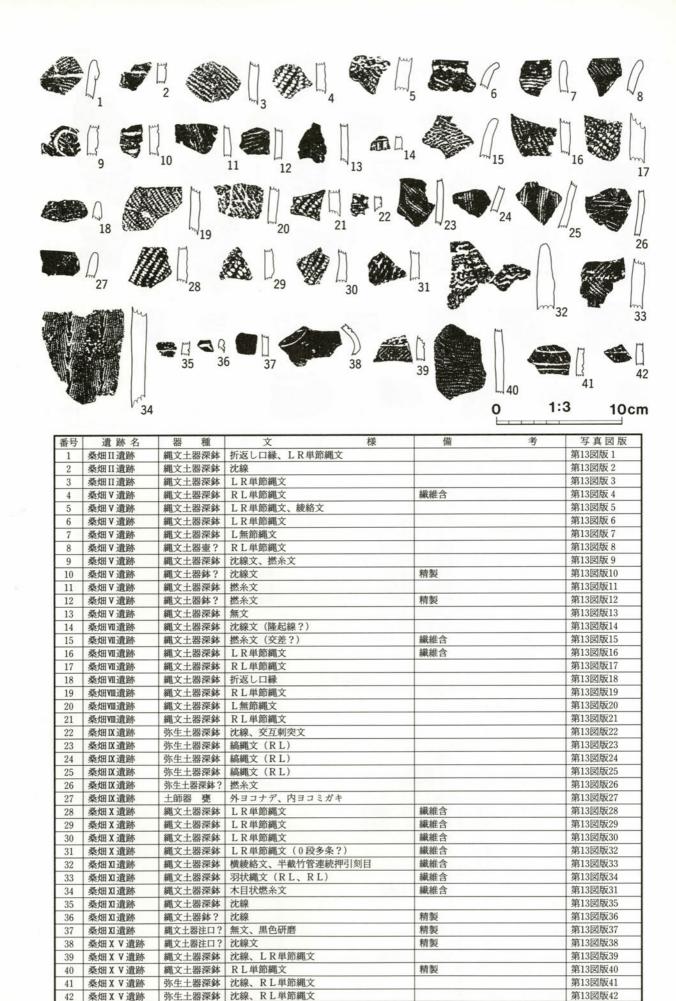
桑畑 X Ⅲ遺 桑畑 **X Ⅲ遺跡**は、標高約140mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は山林であるた **跡** め遺物の採集は不可能であったが、縄文時代の遺跡として台帳登録されている。

桑畑 X V遺跡は、標高約110mのほぼ平坦面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、 跡 弥生土器が採集された。

桑畑 X VI遺 桑畑 X VI遺跡は、標高約50mのほぼ平坦面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、石 跡 鏃が採集された。

桑畑 X VII遺跡は、標高約80m~90mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地であ る。縄文土器、土師器、石斧、フレークが採集された。

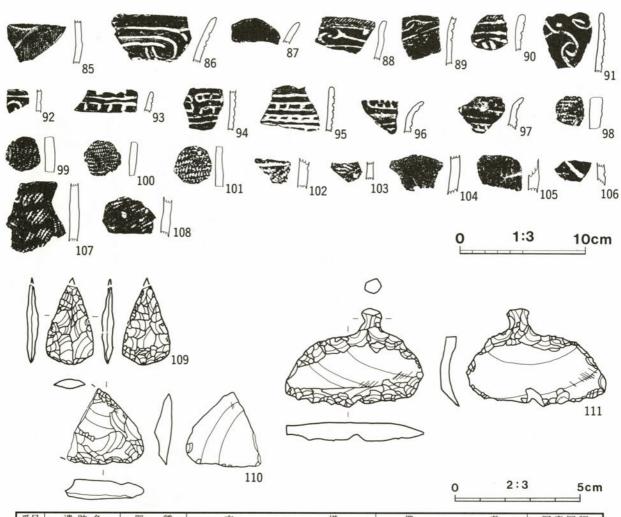
桑畑 X IX遺跡は、標高約105mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。 跡 縄文土器が採集された。



第3図 桑畑地区採集遺物(1)



第4図 桑畑地区採集遺物(2)

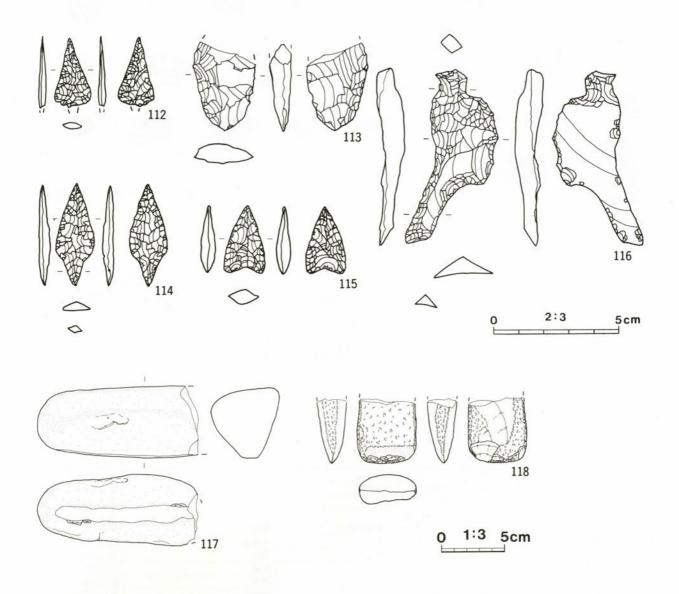


番号	遺跡名	器種	文	様	備	考	写真図版
85	桑畑 X VII遺跡	縄文土器鉢	磨消縄文、LR単節縄文				第14図版13
86	桑畑 X VII遺跡	縄文土器深鉢	沈線文				第14図版14
87	桑畑 X VII遺跡	縄文土器深鉢	波状口縁、無文				第14図版15
88	桑畑 X VII遺跡	縄文土器鉢	玉抱き三叉文、LR単節縄文		精製		第14図版16
89	桑畑 X VII遺跡	縄文土器鉢	三叉文、LR単節縄文		半精製		第14図版17
90	桑畑 X WI遺跡	縄文土器鉢	沈線文、LR単節縄文		精製		第14図版18
91	桑畑 X VII遺跡	縄文土器注口?	沈線文、黒色研磨		精製		第14図版19
92	桑畑 X VII遺跡	縄文土器鉢	沈線文		精製		第14図版20
93	桑畑 X VII遺跡	縄文土器鉢	羊歯状文		精製		第14図版21
94	桑畑 X WI遺跡	縄文土器鉢	羊歯状文		精製		第14図版22
95	桑畑XW遺跡	縄文土器鉢	羊歯状文		精製		第14図版23
96	桑畑 X VII遺跡	縄文土器鉢	沈線		精製		第14図版24
97	桑畑 X VII遺跡	縄文土器鉢	沈線		精製		第14図版25
98	桑畑 X VII遺跡	土製円盤	LR単節縄文		繊維含	重量9.1g	第14図版26
99	桑畑 X VII遺跡	土製円盤	LR単節縄文			重量8.0g	第14図版27
100	桑畑 X VII遺跡	土製円盤	LR単節縄文			重量5.3g	第14図版28
101	桑畑 X VII遺跡	土製円盤	LR単節縄文			重量6.3g	第14図版29
102	桑畑 X VIII遺跡	縄文土器深鉢	沈線、LR単節縄文				第14図版30
103	桑畑 X VIII遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文				第14図版31
104	桑畑 X WII遺跡	土師器甕	外ヘラミガキ、内ヘラミガキ				第14図版32
105	桑畑 X WII遺跡	土師器甕	外ヘラミガキ、内ヘラミガキ				第14図版33
106	桑畑XIX遺跡	縄文土器深鉢	沈線文				第14図版34
107	桑畑 X IX遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文				第14図版35
108	桑畑XIX遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文				第14図版36

計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	99	86	形	態	計測	値(単位	cm)	重 量	石質	THE THE TOTAL BET	Attache.
俄万	退跡石	器	種	115	思	長さ	幅	厚さ	(単位g)	石 質	写真図版	備考
109	桑畑II遺跡	石鏃		円基		(3.1)	1.9	0.4	(2.2)	硬質頁岩	第16図版51	
110	桑畑XI遺跡	スクレイパー				(3.0)	(3.0)	(0.7)	(6.3)	硬質頁岩	第16図版52	-
111	桑畑XVI遺跡	石匙		横形	-	3.9	5.6	0.7	12.5	硬質頁岩	第16図版53	

第5図 桑畑地区採集遺物(3)



計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

wt. [3]	VIII. The Ar	nu nu	600	TES data	計測	値(単位	icm)	重 量	石質	写真図版	備考
番号	遺跡名	器	種	形態	長さ	幅	厚さ	(単位g)	4 貝	子 英 凶 版	VHI ~5
112	桑畑XVI遺跡	石鏃		凸基有茎	(2.8)	1.5	0.3	(1.0)	硬質頁岩	第16図版54	
113	桑畑 X VII遺跡	両面加工石器			(3.6)	2.2	(0.9)	(6.7)	硬質頁岩	第16図版55	
114	桑畑 X VII遺跡	石鏃		凸基有茎	4.0	1.6	0.4	2.1	硬質頁岩	第16図版56	
115	桑畑 X VII遺跡	石鏃		凹基無茎	2.7	1.6	5.0	2.1	硬質頁岩	第16図版57	
116	桑畑 X VII遺跡	石匙		縦形	7.0	3.7	1.1	13.1	硬質頁岩	第16図版58	
117	桑畑XVI遺跡	磨石		断面三角形	6.7	(12.8)	5.4	(581.0)	花崗岩	第16図版77	
118	桑畑 X VIII遺跡	打製石斧			(5.1)	4.6	(2.3)	(85.8)	閃緑岩	第16図版78	

第6図 桑畑地区採集遺物(4)

2 侍浜町外屋敷地区 (第7~10図、第2~5・14・16図版)

外屋敷 I 遺跡は、標高約100mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・ 宅地である。縄文土器、土師器、フレークなどが採集された。

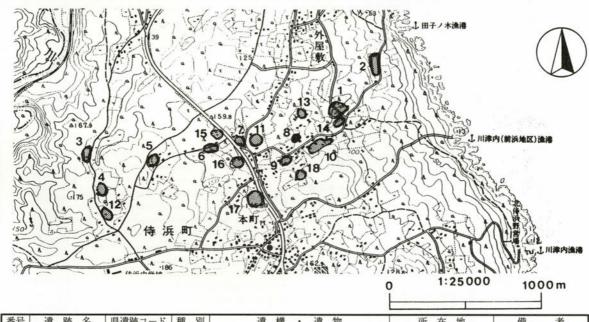
外屋敷Ⅱ遺跡は、標高約60~70mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、土師器、石鏃が採集された。

外屋敷Ⅲ遺跡は、標高約170mのほぼ平坦面に立地する。現状は荒れ地及び山林である ため遺物の採集は不可能であった。縄文時代、古代の遺跡として台帳登録されている。

外屋敷Ⅳ遺跡は、標高約160mの南東から北西に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、土師器が採集された。

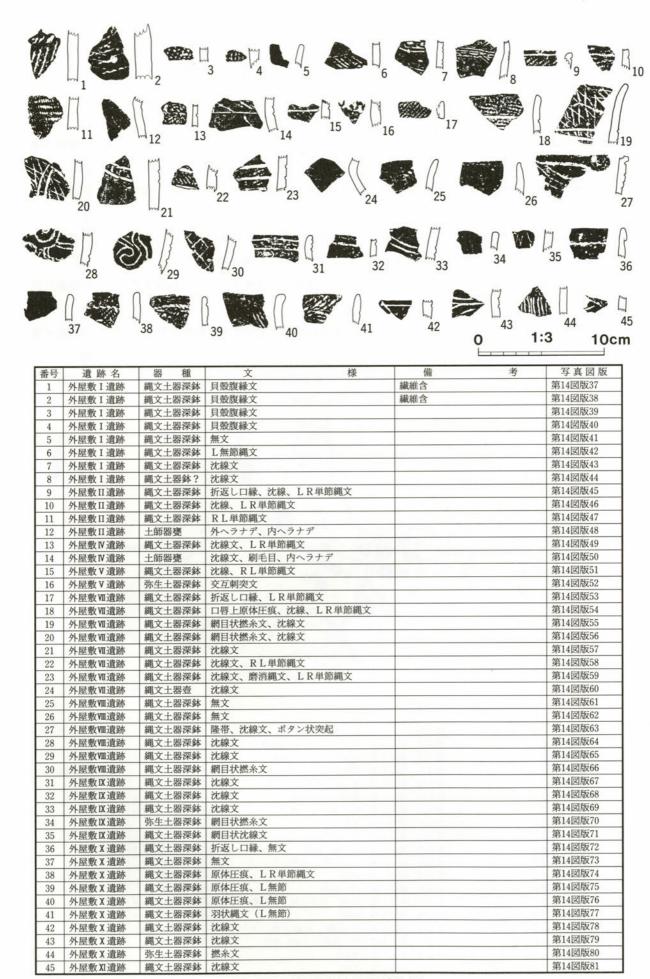
外屋敷 V 遺跡は、標高約160mの北東から南西に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。弥生土器が採集された。

外屋敷Ⅵ遺跡は、標高約150mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は荒れ地・ 畑地であるが遺物は採集されなかった。縄文時代、古代の遺跡として台帳登録されている。 外跡外跡外跡外跡外跡外跡外跡外跡外跡外跡外跡外跡外跡外が水水が上がりまり。 「はまります」。 「はまります。」。 「はまります。。 「はまります。 「もまり。 「

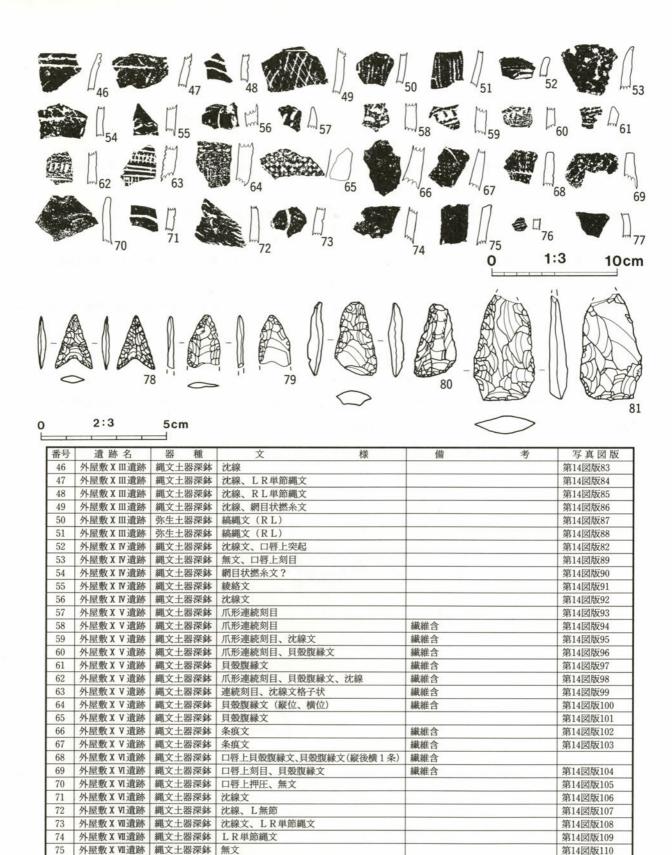


番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所 在 地	備考
1	外屋敷 I 遺跡	I G90.1295	集落跡	縄文土器(早・前・後期)、土師器	侍浜町字外屋敷6-30-3	
2	外屋敷II遺跡	I G90.1258	散布地	縄文土器(後期)、石鏃、土師器	侍浜町字外屋敷6-30-7	
3	外屋敷Ⅲ遺跡	I G90.2029	散布地	縄文土器(晩期)、土師器	侍浜町字桑畑2	旧七小出Ⅱ遺跡
4	外屋敷Ⅳ遺跡	I G90.2140	散布地	縄文土器(中・後・晩期)、土師器	侍浜町字外屋敷3-5-3	
5	外屋敷V遺跡	I G90.2123	散布地	縄文土器(後期)、弥生土器	侍浜町字外屋敷6-10-4	
6	外屋敷VI遺跡	I G90.2116	散布地	縄文土器 (前・後期)、土師器	侍浜町字外屋敷6-10-5	
7	外屋敷Ⅷ遺跡	I G90.2109	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字外屋敷6-9	
8	外屋敷Ⅷ遺跡	I G90.2203	集落跡	縄文土器 (前・後期)	侍浜町字外屋敷6-30-1	
9	外屋敷IX遺跡	I G90.2222	散布地	縄文土器(早・後・晩期)	侍浜町字外屋敷6-36-1	旧本町遺跡
10	外屋敷X遺跡	I G90.2214	集落跡	縄文土器(中・後期)、石斧、フレーク	侍浜町字外屋敷6-31	
11	外屋敷XI遺跡	I G90.2200	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字外屋敷6	旧外屋敷東遺跡
12	外屋敷Ⅷ遺跡	I G90.2150	散布地	縄文土器 (中・晩期)	侍浜町字外屋敷3-5-1	旧七小出I遺跡
13	外屋敷XⅢ遺跡	I G90.1283	散布地	縄文土器(後期)、弥生土器、土師器	侍浜町字外屋敷6-30-6	新規
14	外屋敷XⅣ遺跡	I G90.1295	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字外屋敷6-30-1	新規
15	外屋敷XV遺跡	I G90.1197	散布地	縄文土器 (早・前期)、石鏃、石錘、フレー	侍浜町字外屋敷6-30-6	新規
16	外屋敷 X VI遺跡	I G90.2199	散布地	縄文土器 (早・後期)、石錘、磨石	侍浜町字外屋敷6-64	新規
17	外屋敷 X VII遺跡	I G90.2240	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字外屋敷7-11	新規
18	外屋敷 X Ⅷ遺跡	I G90.2233	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字外屋敷6-33	新規

第7図 外屋敷地区遺跡分布図



第8図 外屋敷地区採集遺物(1)



計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	18 D# Ø	RM2	86	III/S data	計測	値(単位	(cm)	重 量	7 89	757 ptr 558 841	/#: +r.
番写	遺跡名	器	種	形態	長さ	幅	厚さ	(単位g)	石質	写真図版	備考
78	外屋敷Ⅱ遺跡	石鏃		凹基無茎	2.2	1.5	0.3	0.6	硬質頁岩	第16図版59	
79	外屋敷XV遺跡	石鏃		-	(2.1)	1.2	0.3	(0.8)	硬質頁岩	第16図版60	
80	外屋敷XV遺跡	スクレイパー			2.9	1.6	0.6	1.2	硬質頁岩	第16図版61	
81	外屋敷XV遺跡	石篦			(4.2)	2.4	0.7	(8.0)	硬質頁岩	第16図版62	

76

外屋敷 X Ⅵ遺跡 | 縄文土器深鉢 | 沈線

外屋敷 X Ⅵ遺跡 縄文土器鉢

第14図版111

第14図版112

外屋敷Ⅵ遺 外屋敷Ⅶ遺跡は、標高約140mの北東から南西に下るやや急な斜面に立地する。現状は畑 跡 地である。縄文土器が採集された。

外屋敷畑遺 外屋敷畑遺跡は、標高約120mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地であ る。縄文土器、フレークが採集された。

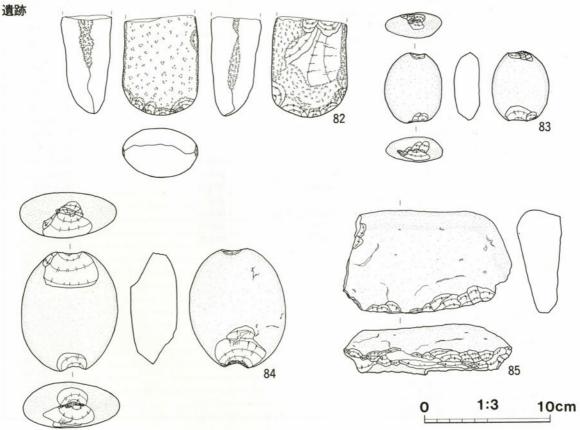
外屋敷Ⅸ遺 外屋敷Ⅸ遺跡は、標高約130mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。 跡 縄文土器が採集された。

外屋敷 X 遺跡は、標高約110~120mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地 なある。縄文土器、石斧、フレークが採集された。

外屋敷 XI 遺跡は、標高約135mのほぼ平坦面に立地する。現状は荒れ地・畑地である。縄 文土器の細片が 1 点採集された。

外屋敷刈遺 外屋敷刈遺跡は、標高約165mのほぼ平坦面に立地する。現状は山林であるため遺物の採 ないまする。現状は山林であるため遺物の採 集は不可能であったが、縄文時代の遺跡として台帳登録されている。

外屋敷 X Ⅳ 遺跡は、標高約90~100mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑



計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

₩.□	VB Dir A	gg gg	60 0	m/s	態	計測	値(単位	(cm)	重 量	石 質	写真図版	備考
番号	遺跡名	器	但	形	思思	長さ	幅	厚さ	(単位g)	11 月	子具凶瓜	WHI 75
82	外屋敷X遺跡	打製石斧				(8.0)	5.9	(4.0)	(288.0)	花崗閃緑岩	第16図版79	
83	外屋敷XV遺跡	石錘				5.5	4.5	2.0	72.1	花崗岩	第16図版80	
84	外屋敷 X VI遺跡	石錘				9.5	7.6	3.6	357.6	硬砂岩	第16図版81	
85	外屋敷 X VI遺跡	磨石				8.2	13.4	3.5	574.1	花崗岩	第16図版82	

第10図 外屋敷地区採集遺物(3)

地・水田である。縄文土器が採集された。

外屋敷 X V 遺跡は、標高約150mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、石鏃、石錘、フレークなどが採集された。

外屋敷 X VI遺跡は、標高約150mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、石錘、磨石、フレークなどが採集された。

外屋敷 X Ⅷ遺跡は、標高約145mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器が採集された。

外屋敷 X WI遺跡は、標高約130mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・牧草地である。縄文土器が採集された。

外屋敷 X V 遺跡

外屋敷 X VI 遺跡

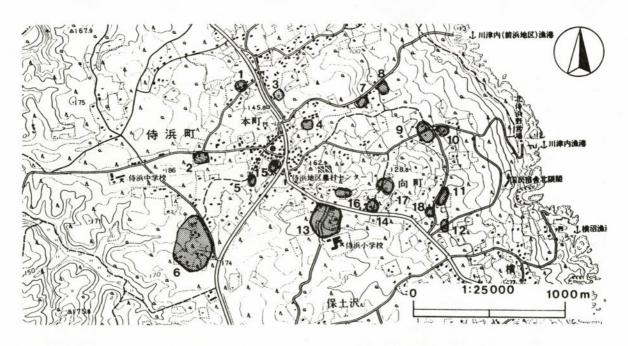
外屋敷 X Ⅶ

遺跡 外屋敷 X WII

遺跡

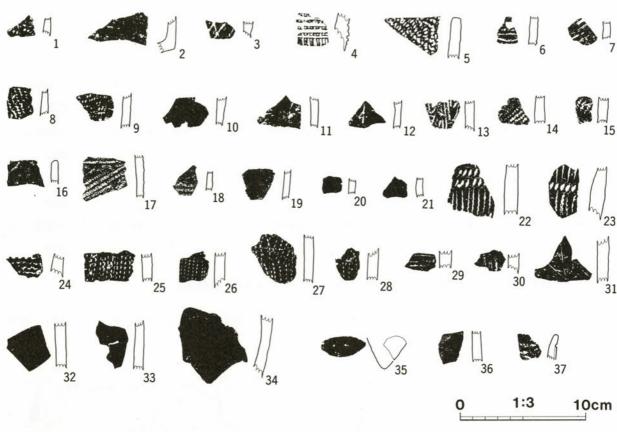
3 侍浜町本町・向町地区 (第11~14図、5~7・14・16図版)

本町 I 遺跡は、標高約150mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・牧 本町 I 遺跡 草地である。土師器の細片が 1 点採集された。



番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所 在 地	備考
1	本町I遺跡	I G90.2148	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字外屋敷6-25	
2	本町II遺跡	I G90.2187	散布地	縄文土器	侍浜町字本町9-50-2	
3	本町Ⅲ遺跡	I G90.2252	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字外屋敷7-7	
4	本町IV遺跡	I G90.2263	散布地	縄文土器(早・前・後期)	侍浜町字本町7-72	
5	本町V遺跡	I G90.0107	散布地	縄文土器 (前期)、土師器	侍浜町字本町9	
6	木戸場遺跡	J G90.0135	集落跡	縄文土器(前・後・晩期)、土師器	侍浜町字本町9-101-1	
7	向町I遺跡	I G90.2257	散布地	縄文土器、土師器?	侍浜町字本町7-81-3	
8	向町II遺跡	I G90.2248	散布地	縄文土器(早・後期)、石斧、フレーク	侍浜町字本町7-4-40	
9	向町Ⅲ遺跡	I G90.2371	散布地	縄文土器 (後期)、土師器	侍浜町字向町7-131-3	範囲拡大
10	向町IV遺跡	J G00.2372	散布地	縄文土器(後期)、石斧	侍浜町字向町7-131-23	
11	向町V遺跡	J G00.0322	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字向町7-131-10	
12	向町VI遺跡	J G00.0333	散布地	土器	侍浜町字向町7-131-33	
13	向町VII遺跡	J G00.0234	散布地	縄文土器 (後期)、土師器	侍浜町字向町8-21	旧向町I~Ⅳ遺跡
14	向町農協倉庫北遺跡	J G00.0227	散布地	縄文土器 (中・晩期)	侍浜町字向町7	
15	向町Ⅷ遺跡	I G90.2291	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字向町9-6-3	新規
16	向町IX遺跡	J G00.0205	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字向町7-88-32	新規
17	向町X遺跡	J G00.0207	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字向町7-134-7	新規
18	向町XI遺跡	J G90.0311	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字向町7-131-10	新規

第11図 本町・向町地区遺跡分布図



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	本町I遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文		第14図版113
2	本町I遺跡	縄文土器深鉢	無文、底部ナデ		第14図版114
3	本町Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	網目状撚糸文		第14図版115
4	本町Ⅳ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文 (縦後横)		第14図版116
5	本町Ⅳ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文		第14図版117
6	本町Ⅳ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、撚糸文		第14図版118
7	本町Ⅳ遺跡	縄文土器深鉢	撚糸文		第14図版119
8	本町V遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文	繊維含	第14図版120
9	本町V遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文	繊維含	第14図版121
10	本町V遺跡	土師器甕	外へラミガキ、内刷毛目		第14図版122
11	本町V遺跡	土師器甕	外へラミガキ、内刷毛目		第14図版123
12	本町V遺跡	土師器甕	外へラミガキ、内刷毛目		第14図版124
13	木戸場遺跡	縄文土器深鉢	木目状撚糸文	繊維含	第14図版125
14	木戸場遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文		第14図版126
15	木戸場遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文		第14図版127
16	木戸場遺跡	縄文土器深鉢	無文、ミガキ		第14図版128
17	木戸場遺跡	後北式土器	縞縄文 (RL)、微隆起帯上朱塗		第14図版129
18	木戸場遺跡	後北式土器	縞縄文 (RL)		第14図版130
19	木戸場遺跡	後北式土器	無文、内外ミガキ		第14図版131
20	向町I遺跡	土師器甕	外ヘラミガキ、内ヘラナデ		第14図版132
21	向町I遺跡	土師器甕	外磨滅、内剝落		第14図版133
22	向町Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	爪形連続刻目、貝殼腹縁文	繊維含	第14図版134
23	向町II遺跡	縄文土器深鉢	爪形連続刻目、貝殼腹縁文		第14図版135
24	向町II遺跡	縄文土器深鉢	貝殼腹縁文	繊維含	第14図版136
25	向町II遺跡	縄文土器深鉢	貝殼腹緣文	繊維含	第14図版137
26	向町II遺跡	縄文土器深鉢	貝殼腹縁文	繊維含	第14図版138
27	向町II遺跡	縄文土器深鉢	貝殼腹縁文	繊維含	第14図版139
28	向町II遺跡	縄文土器深鉢	貝殼腹縁文	繊維含	第14図版140
29	向町II遺跡	縄文土器深鉢	沈線?、条痕文?	繊維含	第14図版141
30	向町Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線?、条痕文?	繊維含	第14図版142
31	向町II遺跡	縄文土器深鉢	条痕文	繊維含	第14図版143
32	向町II遺跡	縄文土器深鉢	無文、ミガキ		第14図版144
33	向町II遺跡	縄文土器深鉢	貝殼腹緣文	繊維含	第14図版145
34	向町II遺跡	縄文土器深鉢	条痕文	繊維含	第14図版146
35	向町Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文	繊維含	第14図版147
36	向町II遺跡	縄文土器深鉢	条線文	繊維含	第14図版148
37	向町Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	原体圧痕、LR単節縄文?		第14図版149

第12図 本町・向町地区採集遺物(1)

本町II遺跡は、標高約165~170mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。今回の調査で遺物は採集されなかったが、縄文時代の遺跡として台帳登録されている。

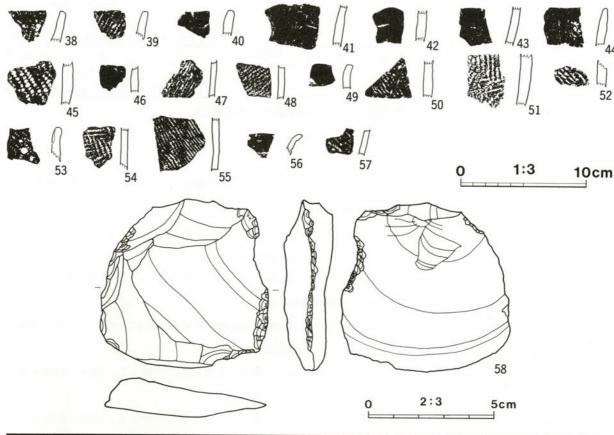
本町II遺跡

本町Ⅲ遺跡は、標高約140mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、フレークが採集された。

本町Ⅲ遺跡

本町IV遺跡は、標高約140mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地であ

本町Ⅳ遺跡

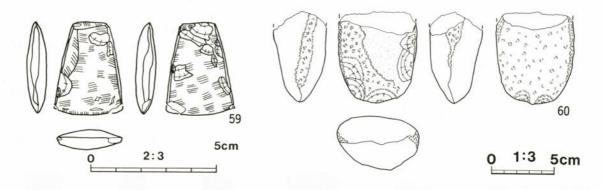


番号	遺跡名	器種	文	様	備	考	写真図版
38	向町Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節縄文				第14図版150
39	向町Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節縄文				第14図版151
40	向町Ⅲ遺跡	土師器甕	内外ヨコナデ				第14図版152
41	向町Ⅲ遺跡	土師器甕	外へラミガキ、内へラミ	ガキ			第14図版153
42	向町Ⅲ遺跡	土師器甕	外へラミガキ、内へラミ	ガキ			第14図版154
43	向町Ⅲ遺跡	土師器甕	外ヘラミガキ、内ヘラミ	ガキ			第14図版155
44	向町Ⅲ遺跡	土師器甑	外へラナデ、内ナデ				第14図版156
45	向町IV遺跡	縄文土器深鉢	RL単節縄文				第14図版157
46	向町IV遺跡	縄文土器深鉢	無文				第14図版158
47	向町V遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文				第14図版159
48	向町V遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文				第14図版160
49	向町WI遺跡	縄文土器深鉢	無文				第14図版161
50	向町VII遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文				第14図版162
51	向町VIII遺跡	縄文土器深鉢	RL単節縄文				第14図版163
52	向町VIII遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文				第14図版164
53	向町IX遺跡	縄文土器深鉢	RL单節縄文				第14図版165
54	向町X遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文 (LR)				第14図版166
55	向町X遺跡	縄文土器鉢	LR単節縄文				第14図版167
56	向町XI遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節縄文				第14図版168
57	向町XI遺跡	縄文土器深鉢	RL単節縄文				第14図版169

計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器	繙	形	態		計測	値(単位	(cm)	重 量	万 廚	THE THE TOTAL BLEE	Ltt: -tx.
IM J	C. 101	HIT	1788.	10	YEX	長	2	幅	厚さ	(単位g)	口貝	写真図版	備考
58	向町II遺跡	スクレイパー				7.	7	6.7	1.9	71.5	硬質頁岩	第16図版63	

第13図 本町・向町地区採集遺物(2)



計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器	翻	形	態	計測	値(単位	cm)	重 量	7 89	THE THE THE INC.	/44: -tv
шэ	78 M. 11	THE	種	112	XER	長さ	幅	厚さ	(単位g)	石 質	写真図版	備考
59	向町II遺跡	小形磨製石斧				3.7	(2.7)	0.8	(10.1)	粘板岩	第16図版64	
60	向町VI遺跡	打製石斧				(7.3)	(6.3)	(4.2)	(260.1)	閃緑岩	第16図版83	

第14図 本町・向町地区採集遺物(3)

る。縄文土器が採集された。

本町 V 遺跡 本町 V 遺跡は、標高約155mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、土師器が採集された。

木戸場遺跡 木戸場遺跡は、標高約160~170mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山 林及び宅地である。縄文土器、後北式土器が採集された。

向町 I 遺跡 向町 I 遺跡は、標高約110~120mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・ 原野及び山林である。縄文土器が採集された。

向町II遺跡 向町II遺跡は、標高約95~100mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、石斧、フレークが採集された。

向町Ⅲ遺跡 向町Ⅲ遺跡は、標高約90mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・荒れ 地である。縄文土器、土師器、フレークが採集された。

向町Ⅳ遺跡は、標高約90mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・荒れ 地である。縄文土器、石斧が採集された。

向町 V 遺跡 に 向町 V 遺跡は、標高約100mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・荒れ地である。縄文土器が採集された。

向町Ⅵ遺跡 向町Ⅵ遺跡は、標高約95mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・荒れ地である。今回の調査で遺物は採集されなかったが、縄文時代の遺跡として台帳登録されている。

向町VII遺跡は、標高約135m~140mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山林である。縄文土器、土師器が採集された。

向町農協倉 向町農協倉庫北遺跡は、標高約125m~130mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。 **庫北遺跡** 現状は山林・荒れ地及び宅地である。遺物は採集されなかったが、縄文時代の遺跡として 台帳登録されている。

向町Ⅷ遺跡は、標高約155mの南東から北西に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器が採集された。

向町IX遺跡 向町IX遺跡は、標高約130~140mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・荒れ地である。縄文土器が採集された。

向町 X 遺跡は、標高約120mの南東から北西に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・水田である。縄文土器、フレークが採集された。

向町X遺跡

向町XI遺跡は、標高約105mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。 縄文土器が採集された。 向町XI遺跡

4 侍浜町保土沢・横沼地区 (第15~18図、第7~10・14~16図版)

保土沢遺跡は、標高約180mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・宅地である。今回の調査では遺物は採集されなかったが、弥生時代の遺跡として台帳登録されている。

保土沢遺跡

保土沢Ⅱ遺跡は、標高約165~170mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・宅地である。縄文土器、弥生土器、土師器、アメリカ式石鏃、フレークなどが採集された。

保土沢II遺

保土沢北遺跡は、標高約175mの北東から南西に下る緩斜面に立地する。現状は荒れ地である。今回の調査では遺物は採集されなかったが、縄文時代の遺跡として台帳登録されている。

保土沢北遺

保土沢南遺跡は、標高約175mのほぼ平坦面に立地する。現状は山林・宅地であるため遺物の採集は不可能であったが、縄文時代の遺跡として台帳登録されている。

保土沢南遺

保土沢Ⅲ遺跡は、標高約125mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器が採集された。

保土沢Ⅲ遺

保土沢Ⅳ遺跡は、標高約135mの南東から北西に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、フレークが採集された。

保土沢Ⅳ遺

保土沢 V 遺跡は、標高約170mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・宅地である。縄文土器が採集された。

保土沢Ⅴ遺

跡

跡

横沼 I 遺跡は、標高約130~135mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器が採集された。

横沼I遺跡

横沼Ⅱ遺跡は、標高約60mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山林である。 遺物は採集されなかったが、縄文時代の遺跡として台帳登録されている。 横沼Ⅱ遺跡

横沼Ⅲ遺跡は、標高約60mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山林である。縄文土器が採集された。

横沼Ⅲ遺跡

横沼Ⅳ遺跡は、標高約60mの西から東に下るやや急な斜面に立地する。現状は畑地である。 縄文土器、フレークが採集された。

横沼Ⅳ遺跡

横沼 V 遺跡は、標高約30mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は荒れ地・山林である。遺物は採集されなかったが、古代の遺跡として台帳登録されている。

横沼V遺跡

横沼Ⅵ遺跡は、標高約105mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は荒れ地・山林及 び畑地である。縄文土器が採集された。 横沼VI遺跡

横沼™遺跡は、標高約110mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は山林・畑地である。縄文土器が採集された。

横沼Ⅷ遺跡

横沼Ⅷ遺跡は、標高約135~140mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器が採集された。

横沼Ⅷ遺跡

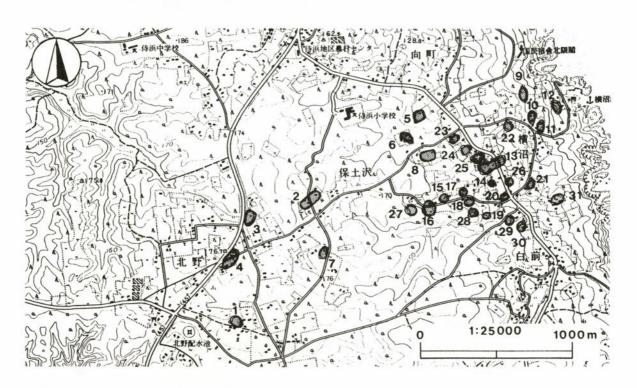
横沼 IX 遺跡は、標高約140mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・荒れ

横沼IX遺跡

地である。縄文土器、フレークが採集された。

横沼 X 遺跡 横沼 X 遺跡は、標高約130mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山林である。縄文土器が採集された。

横沼 XI 遺跡 横沼 XI 遺跡は、標高約120mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄 文土器、フレークが採集された。

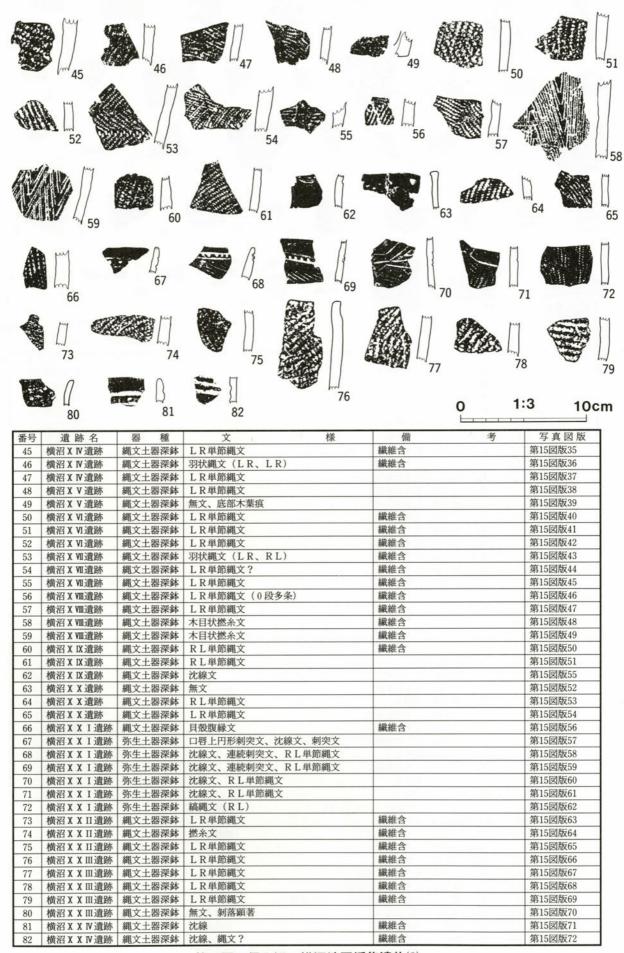


番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所 在 地	備	考
1	保土沢遺跡	J G00.1187	散布地	弥生土器	侍浜町字北野10-216		
2	保土沢Ⅱ遺跡	J G00.1202	散布地	縄文土器(前期)、弥生土器、土師器、アメリカ式石鏃	侍浜町字保土沢43-96		
3	保土沢北遺跡	J G00.1109	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字保土沢8-25-2		
4	保土沢南遺跡	J G00.1137	集落跡	弥生土器	侍浜町字北野10-217-2		-
5	保土沢Ⅲ遺跡	J G 90.0249	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字保土沢9-6-1	新規	
6	保土沢IV遺跡	J G 90.0258	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字保土沢9-115	新規	
7	保土沢V遺跡	J G00.1233	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字保土沢8-45-5	新規	
8	横沼I遺跡	J G00.0370	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字横沼9-144		
9	横沼II遺跡	J G00.0337	散布地	土器、石器	侍浜町字横沼7-26		
10	横沼Ⅲ遺跡	J G00.0357	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字横沼7-10		
11	横沼Ⅳ遺跡	J G00.0367	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字横沼8-12		
12	横沼V遺跡	J G00.0359	散布地	土師器	侍浜町字横沼		
13	横沼VI遺跡	J G00.0384	集落跡	縄文土器 (前・後期)、石器	侍浜町字横沼9-57		
14	横沼VII遺跡	J G00.0395	散布地	縄文土器 (前期)	侍浜町字横沼9-70		
15	横沼WI遺跡	J G00.0301	散布地	縄文土器 (前期)、弥生土器	侍浜町字保土沢9-123		
16	横沼IX遺跡	J G00.0310	散布地	弥生土器	侍浜町字横沼11-155		
17	横沼X遺跡	J G00.0302	散布地	縄文土器 (後・晩期)	侍浜町字横沼6-15		
18	横沼XI遺跡	J G00.1314	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字横沼9-107		
19	横沼XII遺跡	J G00.1314	散布地	縄文土器 (前・中・後期)	侍浜町字横沼10-107		
20	横沼XⅢ遺跡	J G00.1305	散布地	縄文土器 (早期)	侍浜町字横沼9-87		
21	横沼 X IV 遺跡	J G00.1306	散布地	縄文土器 (前・後期)	侍浜町字横沼7-45		
22	横沼XV遺跡	J G 00.0355	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字横沼8-68	新規	
23	横沼 X VI 遺跡	J G 00.0352	散布地	縄文土器 (前期)	侍浜町字横沼9-38	新規	
24	横沼 X VII遺跡	J G00.0362	散布地	縄文土器 (前期)	侍浜町字横沼7-7	新規	
25	横沼 X VIII遺跡	J G 00.0363	散布地	縄文土器 (前期)	侍浜町字横沼9-56	新規	
26	横沼XX遺跡	J G00.0385	散布地	縄文土器 (前・後期)	侍浜町字横沼8-20	新規	
27	横沼XX遺跡	J G00.1208	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字横沼8-44	新規	
28	横沼XXI遺跡	J G00.1313	散布地	縄文土器 (早期)、弥生土器	侍浜町字横沼10	新規	
29	横沼XXII遺跡	J G00.1305	散布地	縄文土器 (前期)	侍浜町字横沼9-18-97	新規	
30	横沼ⅩⅩⅢ遺跡	J G00.1315	散布地	縄文土器 (前・後期)	侍浜町字横沼	新規	
31	横沼XXⅣ遺跡	J G00.0398	散布地	縄文土器 (前・後期)	侍浜町字横沼6-11-2	新規	

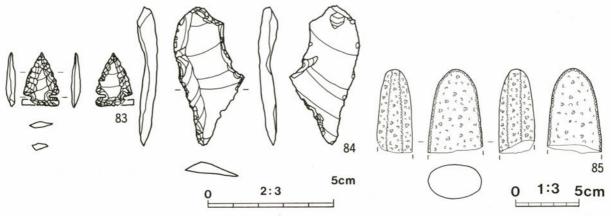
第15図 保土沢·横沼地区遺跡分布図



第16図 保土沢・横沼地区採集遺物(1)



第17図 保土沢・横沼地区採集遺物(2)



計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	ца	909	10%	689	計測	値(単位	(cm)	重 量	石質	写真図版	備考
番写	退跡石	器	種	形	態	長さ	幅	厚さ	(単位g)	石質	子具凶 版	加方
83	保土沢II遺跡	アメリカ式石鏃				2.2	(1.4)	0.3	(0.9)	硬質頁岩	第16図版65	
84	保土沢Ⅱ遺跡	スクレイパー				5.5	2.3	0.8	7.3	硬質頁岩	第16図版66	
85	横沼XX遺跡	打製石斧				(6.6)	(4.3)	(2.8)	(131.5)	花崗閃緑岩	第16図版84	

第18図 保土沢・横沼地区採集遺物(3)

横沼知遺跡は、標高約110mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。 縄文土器、フレークが採集された。

横沼XⅢ遺跡は、標高約95mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。 縄文土器が採集された。

横沼 X Ⅳ遺跡は、標高約90mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器が採集された。

横沼 X V遺跡は、標高約80mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器が採集された。

横沼 X Ⅵ遺跡は、標高約110mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器が採集された。

横沼 X Ⅵ遺跡は、標高約110mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・荒れ地である。縄文土器が採集された。

横沼 X ឃ遺跡は、標高約110mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は山林で、 一部にカット面が露出しており、カット面の黒褐色土層に縄文土器が包含されている。

横沼 X IX遺跡は、標高約90mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。 縄文土器が採集された。

横沼 X X 遺跡は、標高約160mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現状は荒れ地で、地山が表出しており、縄文土器、石斧、フレークが散布している。

横沼 X X I 遺跡は、標高約130mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は山林・畑地である。縄文土器、弥生土器が採集された。

横沼 X X II 遺跡は、標高約105mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は山林・畑 地である。縄文土器、フレークが採集された。

横沼 X X Ⅲ遺跡は、標高約95mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は山林・畑地である。縄文土器、フレークが採集された。

横沼紅遺跡

横沼XIII遺

横沼 X Ⅳ 遺跡

横沼XV遺

横沼 X VI遺跡

跡

横沼 X Ⅵ遺

横沼X畑遺

横沼Х汉遺

跡

横沼XX遺

横沼XXI 遺跡

横沼ХХІІ

遺跡

横沼 X X III 遺跡 横沼 X X IV 遺跡は、標高約70mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山林及 遺跡 び宅地である。縄文土器、石鏃、フレークが採集された。

5 侍浜町白前地区 (第19~21図、第10・11・15・16図版)

西久保遺跡 西久保遺跡は、標高約90~100mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山林 及び宅地である。縄文土器、フレークが採集された。

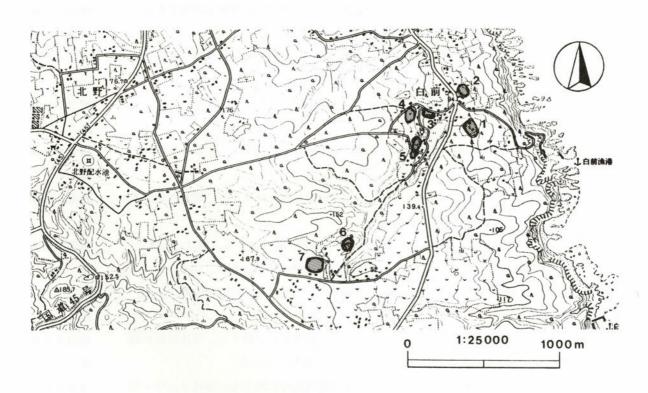
白前 I 遺跡 白前 I 遺跡は、標高約90mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・山林である。 縄文土器、フレークが採集された。

白前II遺跡 白前II遺跡は、標高約100mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は桑畑である。 縄文土器、フレークが採集された。

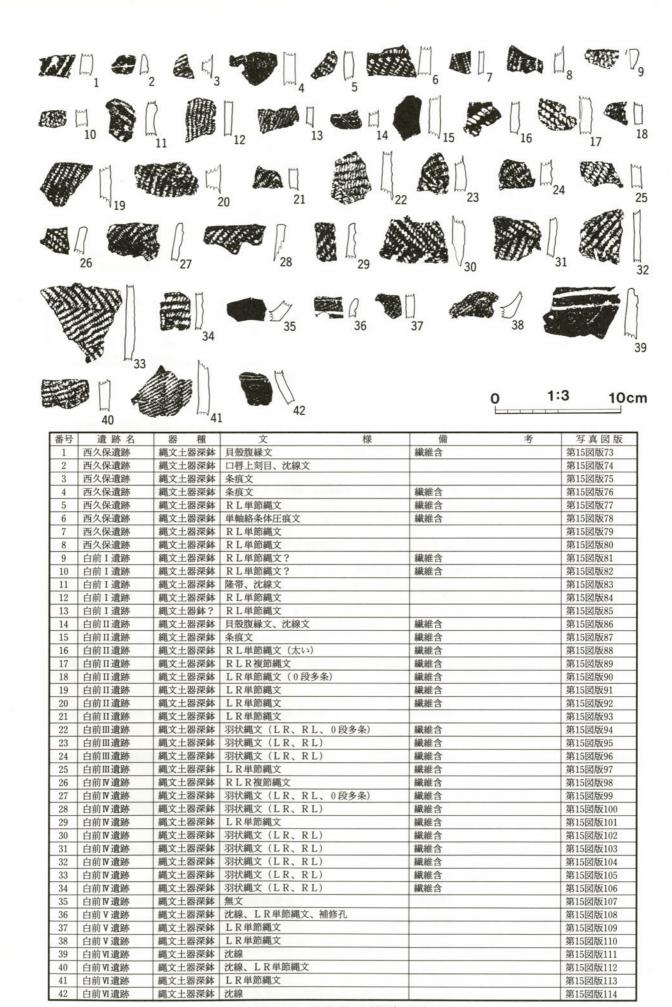
白前Ⅲ遺跡 白前Ⅲ遺跡は、標高約110~120mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。 縄文土器、石鏃、フレークが採集された。

白前Ⅳ遺跡 白前Ⅳ遺跡は、標高約100~110mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地・ 宅地である。縄文土器、石匙、フレークが採集された。

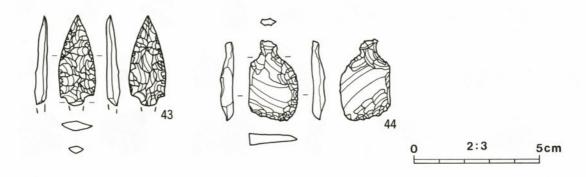
白前 V 遺跡 白前 V 遺跡は、標高約140mの南東から北西に下る緩斜面に立地する。現状は桑畑・牧草地である。縄文土器が採集された。



番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所 在 地	備考
1	西久保遺跡	J G01.1070	散布地	縄文土器(早・前・後期)、石鏃、石斧	侍浜町字白前4-23	/
2	白前I遺跡	J G00.1339	散布地	縄文土器(前・中・後期)	侍浜町字白前6-18-44	新規
3	白前II遺跡	J G00.1356	散布地	縄文土器(前・中・後期)	侍浜町字白前4-32	新規
4	白前Ⅲ遺跡	J G00.1345	散布地	縄文土器(前期)、石鏃	侍浜町字白前4	新規
5	白前Ⅳ遺跡	J G00.1375	散布地	縄文土器(前・後期)、石匙	侍浜町字白前4-2-9	新規
6	白前V遺跡	J G00.2331	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字白前3	新規
7	白前VI遺跡	J G00.2259	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字白前1-137-6	新規



第20図 白前地区採集遺物(1)



計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

平旦	as Dar 力	ца	80	形	態	1000	 	値(単位	cm)		重 量	7	質	写真网版	備考
金 写	遺跡名	器	性	115	思	長	3	幅	厚	3	(単位g)	П	貝	写真図版	湘专
43	白前Ⅲ遺跡	石鏃		平基	有茎	(3.	6)	1.4	0.3	5	(2.5)	硬質	頁岩	第16図版67	
44	白前Ⅳ遺跡	石匙		縦形		3.3		1.9	0.3	5	3.3	硬質	頁岩	第16図版68	

第21図 白前地区採集遺物(2)

白前 VI 遺跡 白前 VI 遺跡は、標高約150mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は桑畑・牧草地及 び畑地である。縄文土器が採集された。

6 侍浜町北野地区 (第22~25図、第11・12・15・16図版)

北野II遺跡 北野II遺跡は、標高約170mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄 文土器が採集された。

北野Ⅲ遺跡 北野Ⅲ遺跡は、標高約160mの南から北に延びる丘陵上に遺跡の範囲が示されているが、 現状は山林であるため、遺物の採集は不可能であった。縄文時代の遺跡として台帳登録され ている。

北野Ⅳ遺跡 北野**Ⅳ遺跡**は、標高約175~180mの北西から南東に延びる丘陵に立地する。現状は畑地である。弥生土器、フレークが採集された。

北野 V 遺跡 北野 V 遺跡は、標高約160mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄 文土器が採集された。

北野 VI 遺跡 北野 VI 遺跡は、標高約170mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器が採集された。

北野Ⅷ遺跡 北野Ⅷ遺跡は、標高約170mの南から北に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄文土器、土師器が採集された。

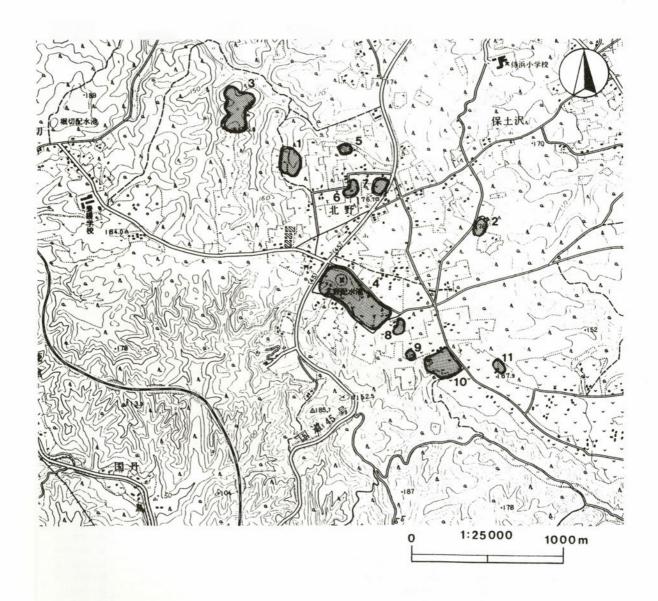
北野畑遺跡 北野畑遺跡は、標高約175mの北から南に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄 文土器、土師器が採集された。

北野IX遺跡 北野IX遺跡は、標高約170mの西から東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄 文土器、フレークが採集された。

北野 X 遺跡 北野 X 遺跡は、標高約165mの北東から南西に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。

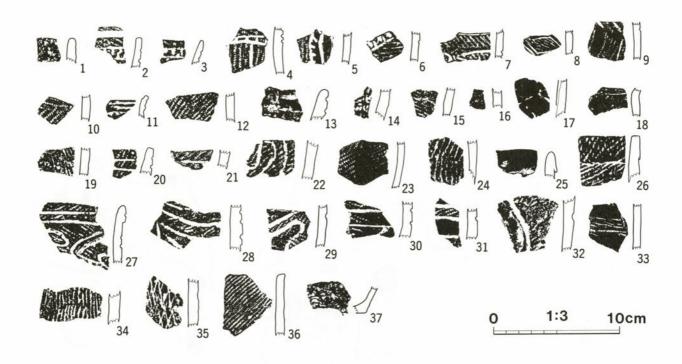
遺物の散布密度は濃く、縄文土器、石斧、敲石、磨石、フレークなどが採集された。

北野 XI 遺跡は、標高約170mの東から西に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。縄 北野 XI 遺跡 文土器が採集された。



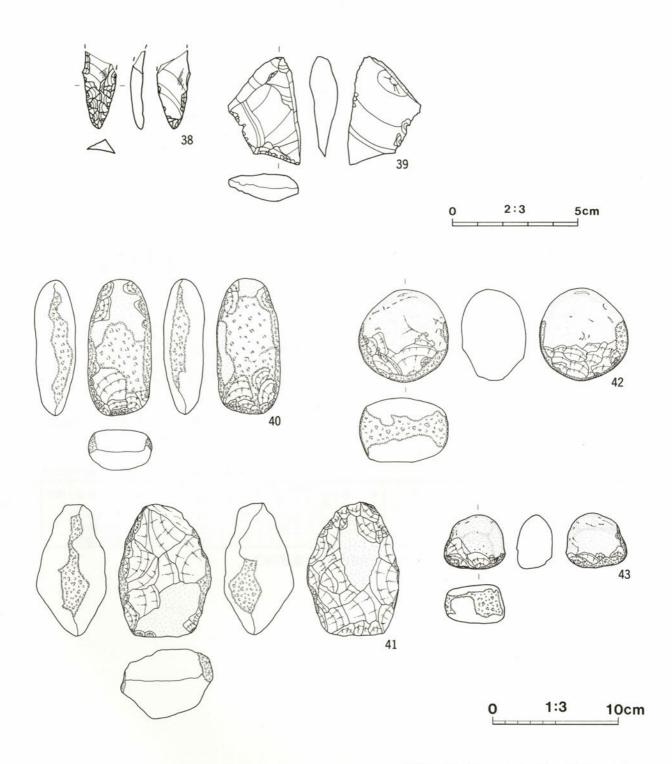
番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所 在 地	備考
1	北野I遺跡	J G00.1111	集落跡	縄文土器(後期)	侍浜町字北野10-69-3	
2	北野Ⅱ遺跡	J G00.1263	散布地	縄文土器 (後期)、石器	侍浜町字保土沢8-45-5	
3	北野Ⅲ遺跡	J G00.0077	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字堀切10	旧北野Ⅲ遺跡
4	北野Ⅳ遺跡	J G00.2106	散布地	縄文土器、弥生土器	侍浜町字北野10−130	
5	北野V遺跡	J G00.0195	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字北野10-63	新規
6	北野VI遺跡	J G00.1125	散布地	縄文土器(前期)	侍浜町字北野10-77	新規
7	北野W遺跡	J G00.1117	散布地	縄文土器(後期)、土師器	侍浜町字北野10-78	新規
8	北野Ⅷ遺跡	J G00.2118	散布地	縄文土器(後期)、土師器	侍浜町字北野10−182	新規
9	北野IX遺跡	J G00.2138	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字北野10-185	新規
10	北野X遺跡	J G00.2231	散布地	縄文土器(後期)、石斧、敲石、磨石、フレーク	侍浜町字北野10-93	新規
11	北野XI遺跡	J G00.2244	散布地	縄文土器(後期?)	侍浜町字北野3-10	新規

第22図 北野地区遺跡分布図



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	北野II遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文		第15図版115
2	北野N遺跡	弥生土器深鉢	口唇上縄文、沈線、交互刺突文、RL単節縄文		第15図版116
3	北野Ⅳ遺跡	弥生土器深鉢	口唇上縄文、沈線、交互刺突文、RL単節縄文		第15図版117
4	北野V遺跡	弥生土器深鉢	沈線、交互刺突文、RL単節縄文		第15図版118
5	北野N遺跡	弥生土器深鉢	沈線、交互刺突文、RL単節縄文		第15図版119
6	北野V遺跡	弥生土器深鉢	沈線、交互刺突文、RL単節縄文		第15図版120
7	北野N遺跡	弥生土器深鉢	沈線、RL単節縄文		第15図版121
8	北野Ⅳ遺跡	弥生土器深鉢	沈線、RL単節縄文		第15図版122
9	北野N遺跡	弥生土器深鉢	RL単節縄文		第15図版123
10	北野Ⅳ遺跡	弥生土器深鉢	羽状縄文 (LR、RL)		第15図版124
11	北野V遺跡	縄文土器鉢	沈線		第15図版125
12	北野V遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文		第15図版126
13	北野VI遺跡	縄文土器深鉢	押引沈線文	繊維含	第15図版127
14	北野VI遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文	繊維含	第15図版128
15	北野VI遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文	繊維含	第15図版129
16	北野W遺跡	縄文土器深鉢	無文		第15図版130
17	北野W遺跡	土師器甕	外へラミガキ、内ナデ		第15図版131
18	北野WI遺跡	縄文土器深鉢	L無節		第15図版132
19	北野Ⅷ遺跡	土師器甕	外へラミガキ、内ナデ		第15図版133
20	北野IX遺跡	縄文土器深鉢	沈線、LR単節縄文		第15図版134
21	北野IX遺跡	縄文土器深鉢	沈線、LR単節縄文		第15図版135
22	北野IX遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節縄文		第15図版136
23	北野IX遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文		第15図版137
24	北野IX遺跡	縄文土器深鉢	撚糸文		第15図版138
25	北野X遺跡	縄文土器深鉢	折返し口縁、無文		第15図版139
26	北野X遺跡	縄文土器深鉢	折返し口縁、LR単節縄文		第15図版140
27	北野X遺跡	縄文土器深鉢	折返し口縁、沈線文、LR単節縄文		第15図版141
28	北野X遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節縄文		第15図版142
29	北野X遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、磨消縄文、LR単節縄文		第15図版143
30	北野X遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節縄文		第15図版144
31	北野X遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、磨消縄文、LR単節縄文		第15図版145
32	北野X遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節縄文		第15図版146
33	北野X遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第15図版147
34	北野X遺跡	縄文土器深鉢	撚糸文		第15図版148
35	北野X遺跡	縄文土器深鉢	網目状撚糸文		第15図版149
36	北野X遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文		第15図版150
37	北野XI遺跡	縄文土器深鉢	無文		第15図版151

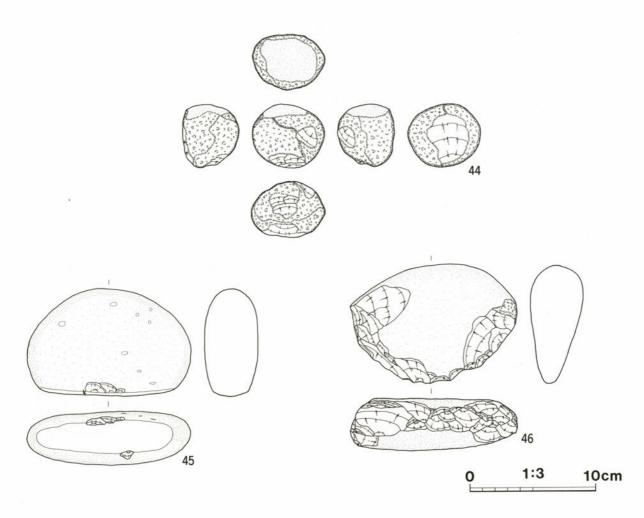
第23図 北野地区採集遺物(1)



計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	計測	値(単位	Zcm)	重 量	石質	罗古网络	備考
俄万	退跡名	宿	T5 18	長さ	幅	厚さ	(単位g)	石質	写真図版	加考
38	北野VI遺跡	石匙?		(3.1)	(1.3)	(0.6)	(1.7)	硬質頁岩	第16図版70	
39	北野Ⅳ遺跡	二次加工を有する剝片		4.3	2.9	1.1	11.0	硬質頁岩	第16図版69	
40	北野X遺跡	打製石斧		10.9	5.0	3.2	280.9	硬砂岩	第16図版85	
41	北野X遺跡	打製石斧		10.6	7.4	5.5	557.5	花崗閃緑岩	第16図版86	
42	北野X遺跡	敲石		7.3	7.1	5.1	368.1	硬質頁岩	第16図版87	
43	北野X遺跡	敲石		4.3	4.8	2.8	92.9	硬質頁岩	第16図版88	

第24図 北野地区採集遺物(2)



計測値、重量の欄の () 内の数値は欠損品の現存値

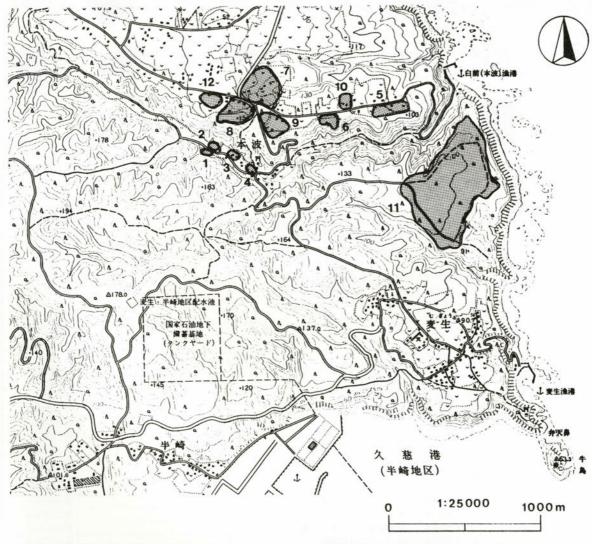
- T	NIB THE A	nn	500	TES	data	計測	値(単位	(cm)	重 量	石 質	写真図版	備考
番号	遺跡名	器	種	形	態	長さ	幅	厚さ	(単位g)	白 賞	子具凶版	VH 75
44	北野X遺跡	敲石				5.0	5.7	4.5	215.6	閃緑岩	第16図版89	
45	北野X遺跡	磨石				8.6	12.9	4.3	720.7	花崗岩	第16図版90	
46	北野X遺跡	礫器				9.5	13.2	4.2	765.0	花崗閃緑岩	第16図版91	

第25図 北野地区採集遺物(3)

7 侍浜町本波地区 (第26~28図、第12・13・16図版)

本波 I 遺跡から本波 XI 遺跡については、『久慈市内遺跡詳細分布調査報告書 I 』で触れたため省略するが、本波 VII 遺跡については採集遺物を前記報告書でとりあげなかったため今回掲載する。また、本波VII遺跡は遺物の散布が北側においても確認されたため、範囲が拡大した。

本波知遺跡は、標高約150mの丘陵状の地形に立地する。現状は畑地である。縄文土器が採集された。

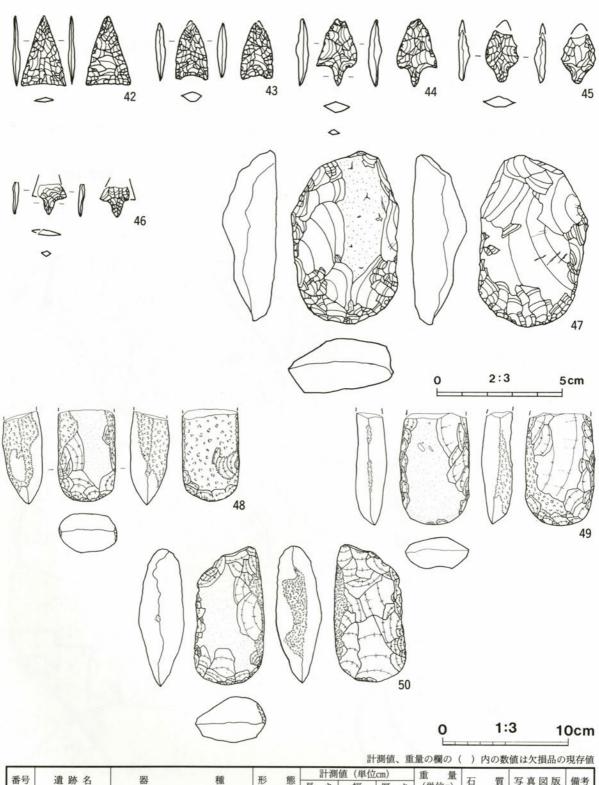


番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備 考
1	本波I遺跡	J G10.0351	散布地	縄文土器、土師器	侍浜町字本波9-15-5	
2	本波Ⅱ遺跡	J G10.0352	散布地	縄文土器	侍浜町字本波11-12-1	
3	本波Ⅲ遺跡	J G10.0353	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字本波11-71	
4	本波Ⅳ遺跡	J G10.0364	散布地	縄文土器、土師器	侍浜町字本波11-25	
5	本波V遺跡	J G10.0025	散布地	縄文土器、石鏃	侍浜町字本波12-39	
6	本波VI遺跡	J G10.0339	散布地	縄文土器(前期)、石鏃	侍浜町字本波12	
7	本波Ⅶ遺跡	J G10.0305	散布地	縄文土器(前・中・後期)、石鏃、フレーク	侍浜町字本波11-68	
8	本波WII遺跡	J G10.0332	散布地	縄文土器 (前期)	侍浜町字本波11-45-3	範囲拡大
9	本波IX遺跡	J G10.0335	散布地	縄文土器(前期)、石匙	侍浜町字本波8-7	
10	本波X遺跡	J G10.0021	散布地	縄文土器(前期)	侍浜町字本波12-34	
11	本波XI遺跡	J G10.0048	集落跡?	縄文土器(後期)	侍浜町字本波4	
12	本波XI遺跡	J G10.0301	散布地	縄文土器 (後期)	侍浜町字本波11	新規

第26図 本波地区遺跡分布図



第27図 本波地区採集遺物(1)



番号	遺跡名	名 器	種	形態	計測	値(単位	(cm)	重 量	7 66	写真図版	備考
				/D /BR	長さ	幅	厚さ	(単位g)	石 質		
42	本波Ⅵ遺跡	石鏃		平基無茎	2.8	1.8	0.3	1.2	硬質頁岩	第16図版71	
43	本波Ⅷ遺跡	石鏃		凹基無茎	(2.4)	1.3	0.4	(1.1)	硬質頁岩	第16図版72	
44	本波Ⅷ遺跡	石鏃		平基有茎	2.7	1.6	0.5	1.4	硬質頁岩	第16図版73	
45	本波Ⅷ遺跡	石鏃	Ę.		(2.0)	1.3	0.4	(1.1)	硬質頁岩	第16図版74	
46	本波Ⅵ遺跡	石鏃	石鏃			(1.2) (1.2) (0.2)		(0.3)	硬質頁岩	第16図版75	
47	本波Ⅷ遺跡	スクレイパー			6.8	4.3	2.2	63.0	チャート	第16図版76	
48	本波Ⅵ遺跡	打製石斧			(7.3)	(4.6)	3.1	(158.1)	硬砂岩	第16図版92	
49	本波Ⅵ遺跡	打製石斧			(8.9)	5.5	(2.4)	(190.4)	花崗岩	第16図版94	
50	本波Ⅵ遺跡	打製石斧			11.0	5.5	3.6	298.1	花崗閃緑岩	第16図版93	

第28図 本波地区採集遺物(2)

8 侍浜町長崎・堀切地区 (第29・30図、第13・16図版)

長崎遺跡 長崎遺跡は、東西にそれぞれ沢が北流し、南から北に延びる標高約110mの丘陵上に立地 する。現状は畑地及び宅地である。縄文土器、磨石が採集された。

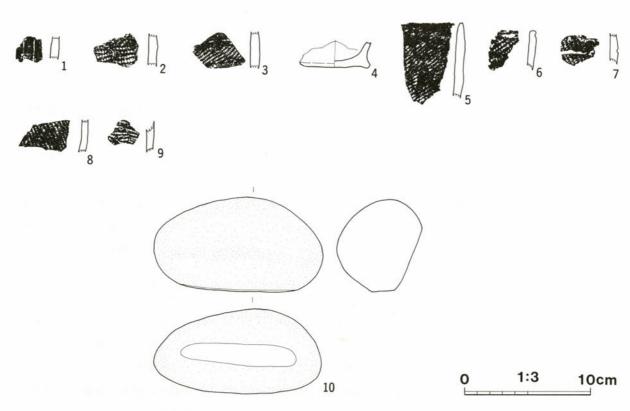
堀切 I 遺跡 堀切 I 遺跡は、標高約150mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現状は畑地及び宅地である。縄文土器、フレークが採集された。

堀切Ⅱ遺跡 堀切Ⅱ遺跡は、標高約160mの北東から南西に下る緩斜面に立地する。現状は畑地である。 縄文土器、フレークが採集された。



番号	遺跡名	県遺跡コード	種 別	遺構・遺物	所 在 地	備考
1	長崎遺跡	J G00.2043	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字堀切1-2	新規
2	堀切I遺跡	J F09.0362	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字堀切10-55-13	新規
3	堀切II遺跡	J F09.1333	散布地	縄文土器(後期)	侍浜町字堀切10	新規

第29図 長崎・堀切地区遺跡分布図



番号	遺跡名	器種	文様	備	考	写真図版
1	長崎遺跡	縄文土器深鉢	沈線	繊維含		第16図版42
2	長崎遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文			第16図版43
3	長崎遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文			第16図版44
4	長崎遺跡	縄文土器深鉢	無文、底部ナデ	繊維含		第16図版45
5	堀切I遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文	繊維含		第16図版46
6	堀切I遺跡	縄文土器深鉢	LR単節縄文	繊維含		第16図版47
7	堀切I遺跡	縄文土器深鉢	沈線、LR単節縄文			第16図版48
8	堀切 I 遺跡	縄文土器深鉢	RL単節縄文	- I was a second		第16図版49
9	堀切II遺跡	縄文土器深鉢	R L 単節縄文?	繊維含		第16図版50

計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器	種	形	fete	計測値 (単位cm)			重 量	7	質	写直図版	備考		
田勺					態	長	3	幅	厚	2	(単位g)	41	貝	写真図版	湘方
10	長崎遺跡	磨石		断面:	三角形	7.	.5	13.4	6.7	7	865.3	砂岩		第16図版95	

第30図 長崎・堀切地区採集遺物

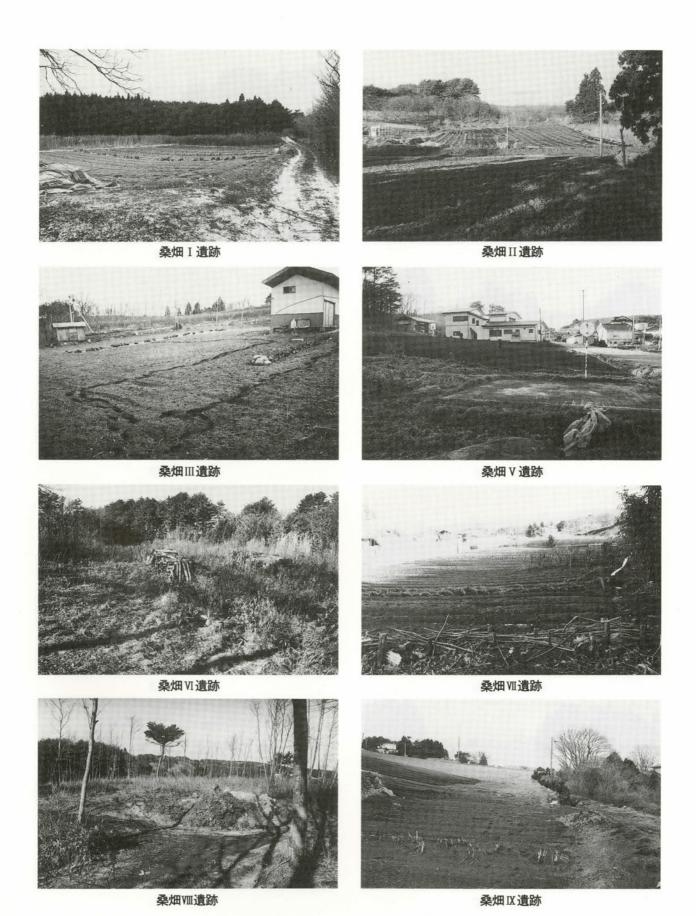
9 まとめ

今回の分布調査対象地である侍浜町において、埋蔵文化財包蔵地として遺跡台帳に登録されている遺跡数は73箇所であった。以前に、岩手県教育委員会文化課によって侍浜町の東半部の分布調査が実施され、多くの遺跡が発見された。今回の分布調査の結果、さらに46箇所の遺跡が発見された。市内の他地域と比較すると、遺跡の分布密度はきわめて濃く、特に海岸線付近は顕著である。

遺跡の分布密度が濃い要因として次のことが考えられる。侍浜町は太平洋に面しており、海岸段丘の発達によって広い平坦面が形成されている。居住可能な空間が広いうえ選択余地もあること、海岸に近いため海 産資源に恵まれていたことがあげられる。さらに、平坦面において畑地利用されている箇所が比較的多く、 遺物の表面採集が可能な面積が広いこともあげることができる。

遺跡の時期についても特徴が認められ、海岸付近に縄文時代早期に属する遺跡が多くみられる。桑畑 X VI 遺跡、外屋敷 I 遺跡、向町 II 遺跡、横沼 X III 遺跡、西久保遺跡等が早期に属する遺跡である。市内の他地域においては縄文時代早期の遺跡はあまり確認されておらず、侍浜町における縄文時代早期に属する遺跡の密度は特記すべきことである。また、縄文時代早期以降、縄文時代前期~晩期、弥生時代、古代にかけて各期の遺跡の所在が確認されるが、古代に属する遺跡の数は極端に減少する。弥生時代に属する遺跡は他地域においても分布密度は薄いが、古代の遺跡については、侍浜町全体の遺跡の分布密度からみると少なく、土師器などはあまり採集されなかった。

また、新規発見の桑畑 X WI遺跡は縄文期の遺跡であるが、遺物の散布量が多く、土器の他、石のフレークが多量に採集されており、集落跡が存在する可能性が高い。



第1図版 桑畑地区遺跡



桑畑X遺跡



桑畑刈遺跡



桑畑XV遺跡



桑畑XVI遺跡



桑畑 X VII遺跡



桑畑X畑遺跡



桑畑XIX遺跡



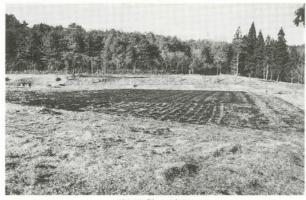
外屋敷 I 遺跡



外屋敷II遺跡



外屋敷Ⅲ遺跡



外屋敷 IV 遺跡



外屋敷 V 遺跡



外屋敷VI遺跡



外屋敷Ⅷ遺跡



外屋敷Ⅷ遺跡



外屋敷IX遺跡



外屋敷 X 遺跡



外屋敷XI遺跡



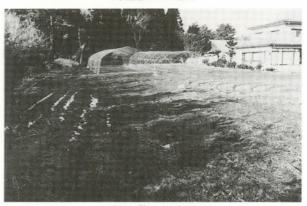
外屋敷紅遺跡



外屋敷 X Ⅲ遺跡



外屋敷 X Ⅳ遺跡



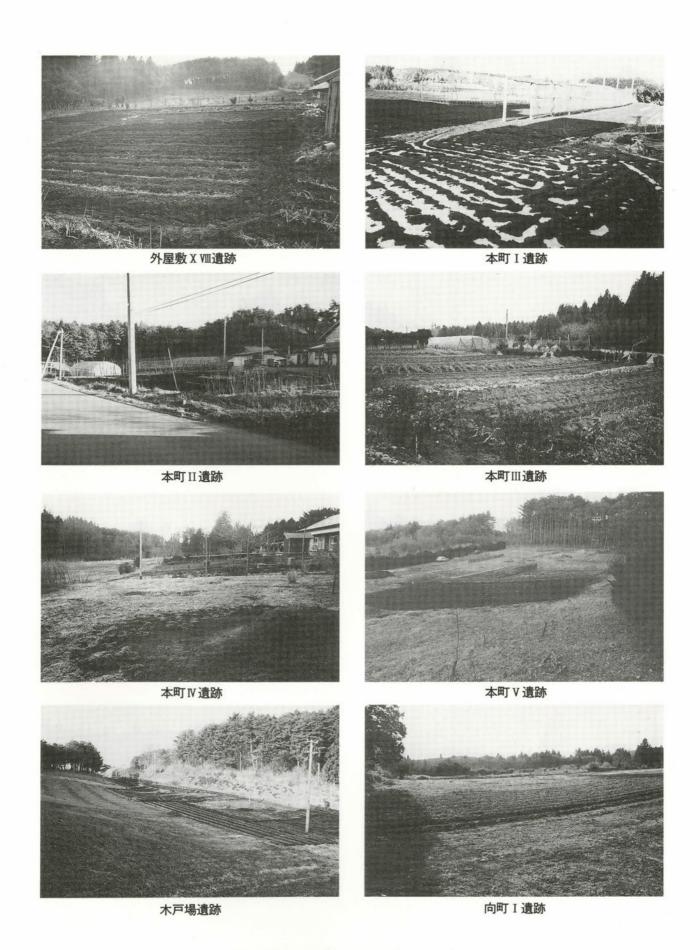
外屋敷 X V 遺跡



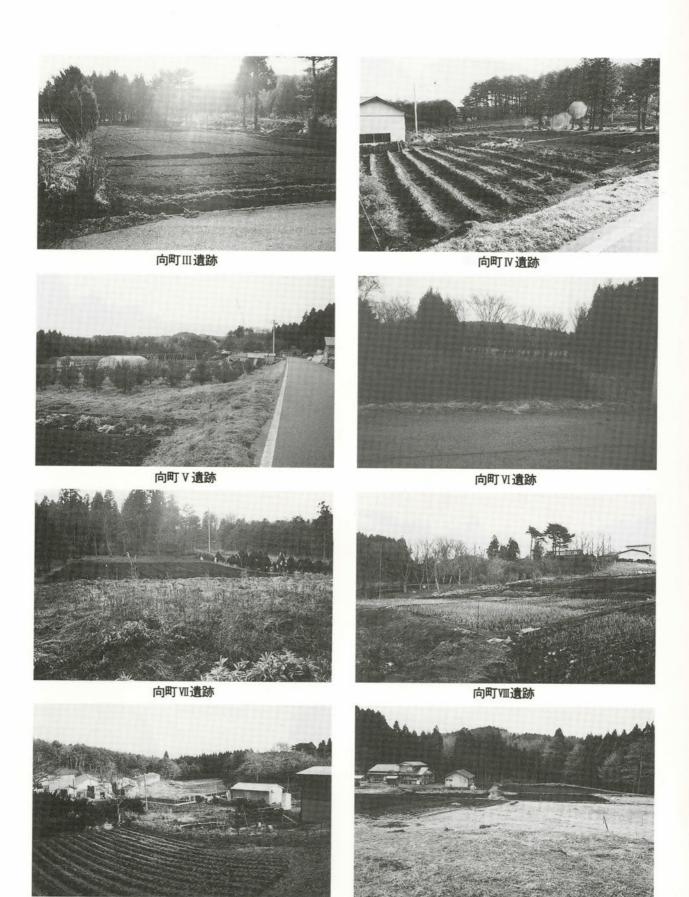
外屋敷 X VI遺跡



外屋敷 X Ⅷ遺跡



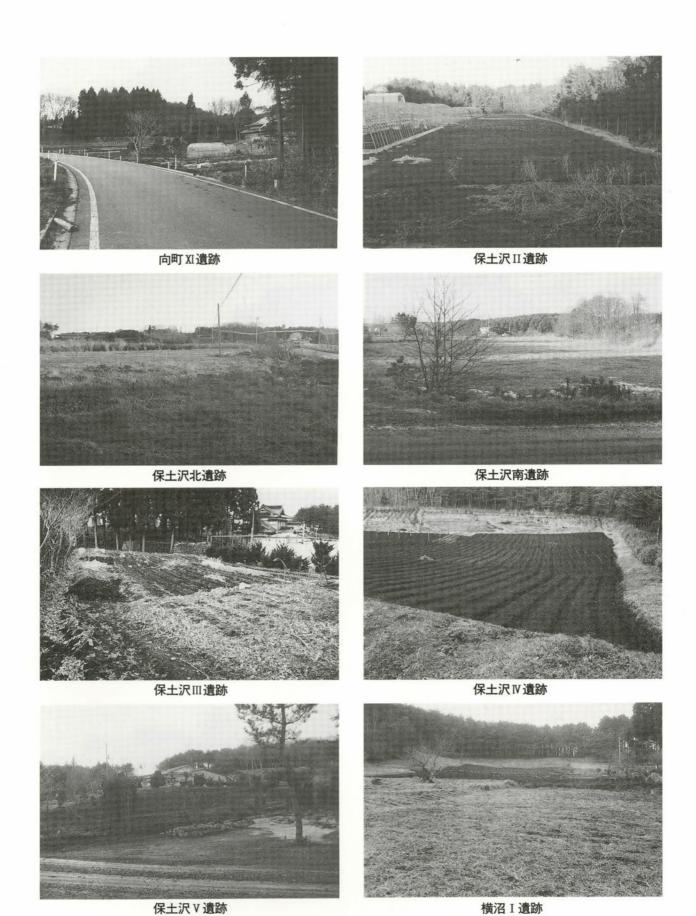
第5図版 外屋敷・本町・向町地区遺跡



第6図版 向町地区遺跡

向町X遺跡

向町IX遺跡



第7回版 向町・保土沢・横沼地区遺跡





横沼Ⅲ遺跡



横沼Ⅳ遺跡



横沼V遺跡



横沼VI遺跡



横沼Ⅷ遺跡



横沼IX遺跡



横沼X遺跡



横沼Ⅺ遺跡



横沼皿遺跡



横沼XⅢ遺跡



横沼Ⅳ遺跡



横沼XV遺跡



横沼 X VI遺跡



横沼 X VII遺跡



横沼 X Ⅷ遺跡



横沼XIX遺跡



横沼ХХ遺跡



横沼ХХІ遺跡



横沼XXII遺跡



横沼XXⅢ遺跡



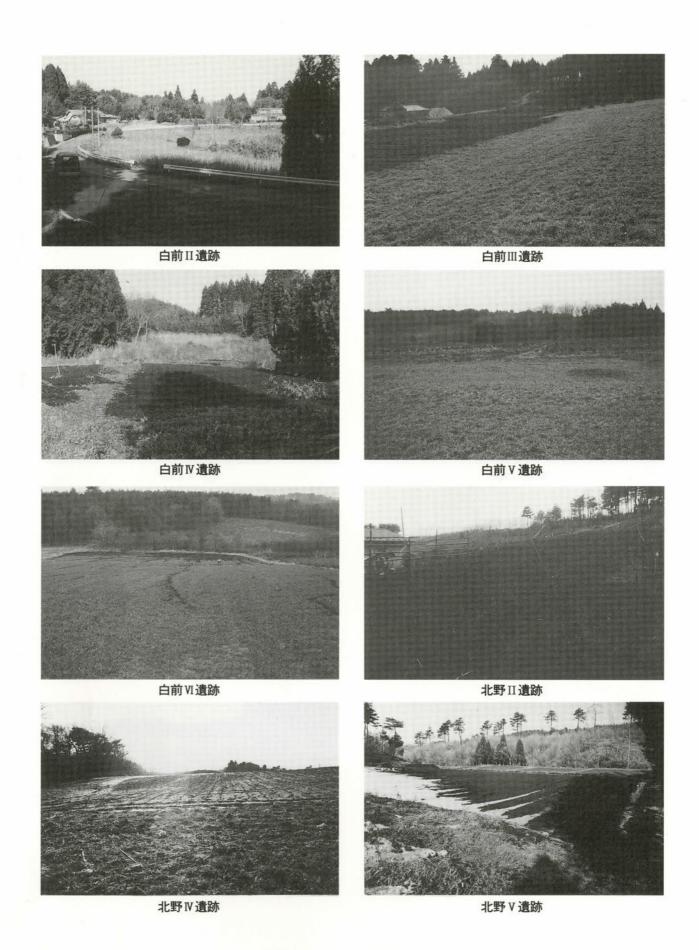
横沼ⅩⅩⅣ遺跡



西久保遺跡



白前I遺跡



第11図版 白前・北野地区遺跡



北野VI遺跡



北野Ⅷ遺跡



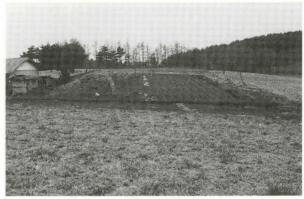
北野Ⅲ遺跡



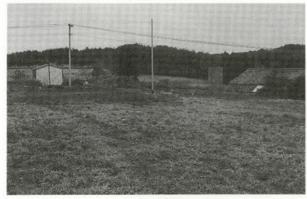
北野Ⅸ遺跡



北野X遺跡



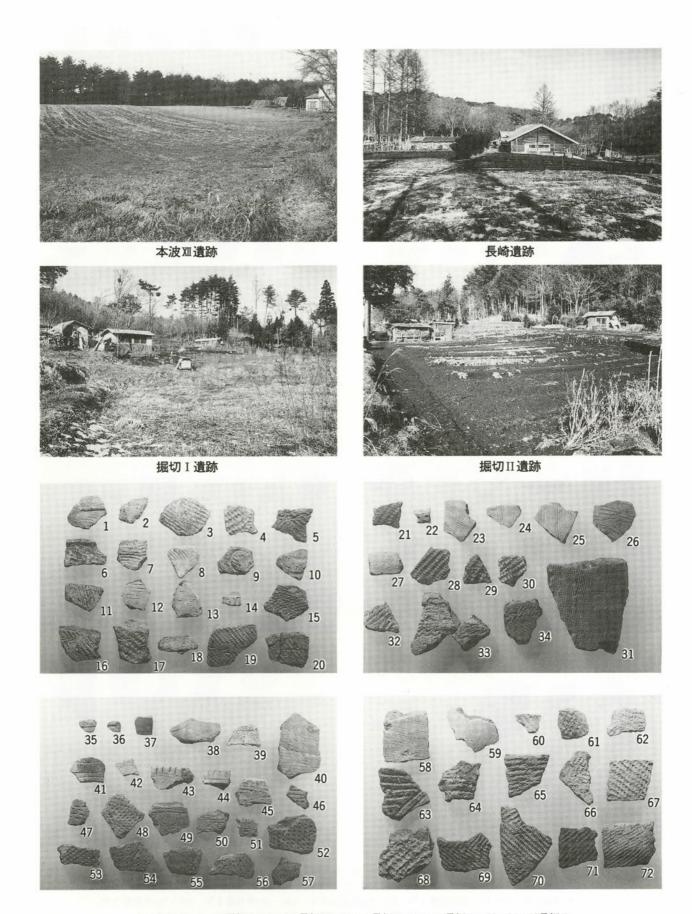
北野XI遺跡



本波Ⅷ遺跡

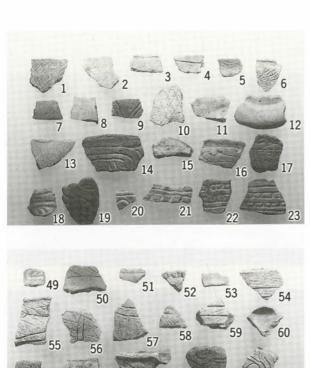


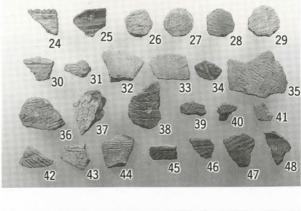
本波Ⅷ遺跡



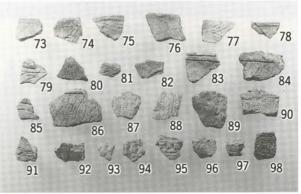
1~3桑畑Ⅱ、4~13桑畑 V 、14~18桑畑 WI 、19~21桑畑 WI 、22~27桑畑 IX 、28~30・32桑畑 X 、31・33~37桑畑 XI 、38~42桑畑 X V 、43~62桑畑 X VI 、63~72桑畑 X VI

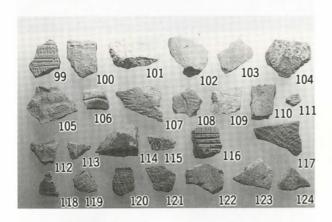
第13図版 本波・長崎・堀切地区遺跡、採集遺物(1)

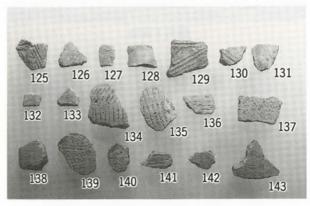


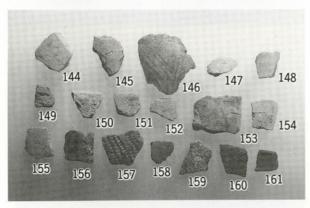


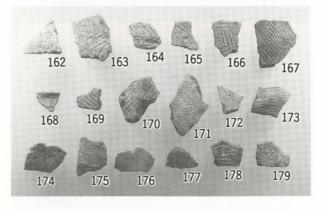




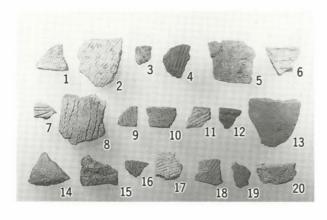


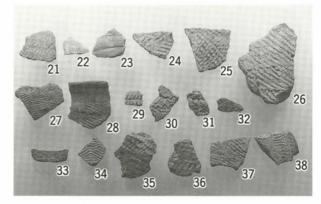


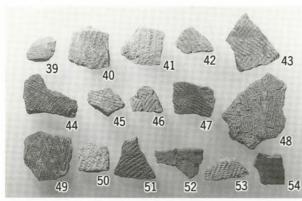


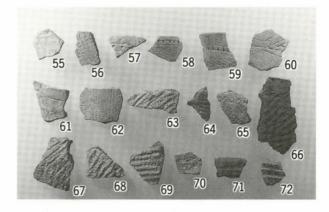


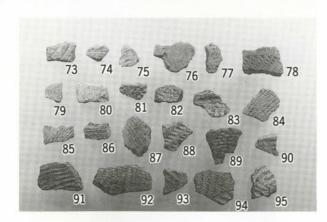
1~29桑畑 X Ⅵ、30~33桑畑 X Ⅶ、34~36桑畑 X Ⅸ、37~44外屋敷 I、45~48外屋敷 Ⅱ、49·50外屋敷 Ⅳ、 51·52外屋敷 V、53~60外屋敷 WI、61~66外屋敷 WI、67~71外屋敷 IX、72~80外屋敷 X、81外屋敷 XI、 83~88外屋敷 X Ⅲ、82・89~92外屋敷 X Ⅳ、93~103外屋敷 X Ⅴ、104~107外屋敷 X Ⅵ、108~112外屋敷 X Ⅵ、 113・114本町 I、115本町III、116~119本町IV、120~124本町 V、125~131木戸場、132・133向町 I、 134~149向町Ⅱ、150~156向町Ⅲ、157・158向町Ⅳ、159・160向町Ⅴ、161・162向町Ⅵ、163・164向町ⅤⅢ、 165向町IX、166·167向町X、168·169向町IX、170~172保土沢Ⅱ、173~176保土沢Ⅲ、177~179保土沢Ⅳ

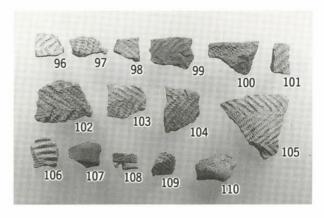


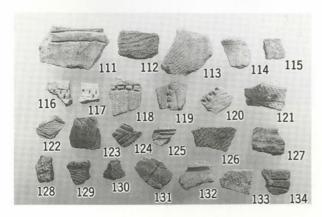


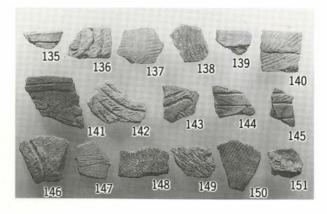




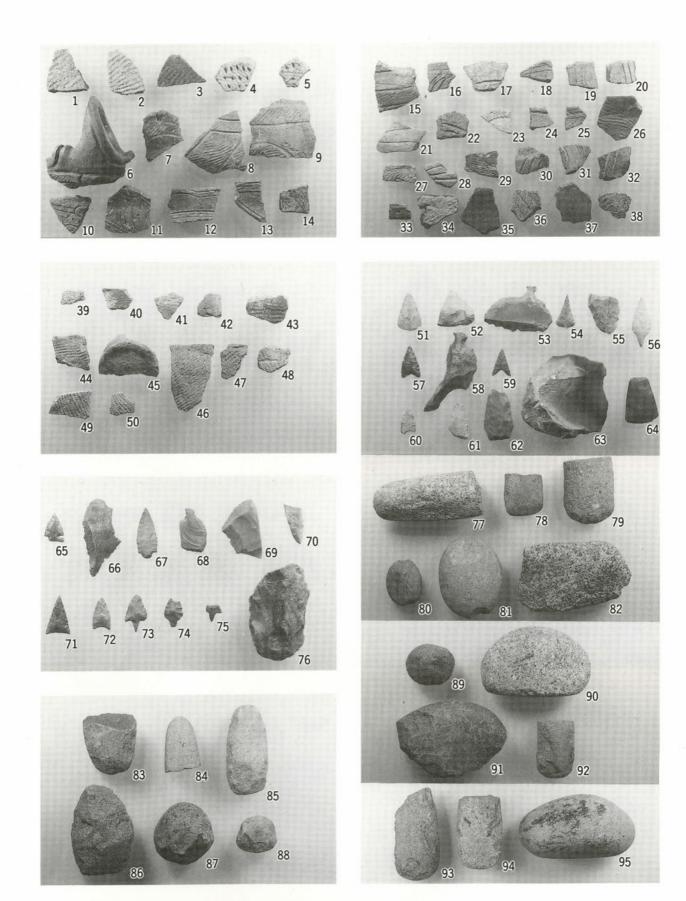








1保土沢 V、2・3横沢 I、4横沼Ⅲ、5~9横沼 IV、10~13横沼 IV、14横沼Ⅲ、15・16横沼 IX、17~19横沼 X、20~23横沼 XI、24~28横沼 XI、29~34横沼 XII、35~37横沼 X IV、38・39横沼 X V、40~42横沼 X VI、43~45横沼 X VI、46~49横沼 X VII、50・51・55横沼 X IX、52~54横沼 X X 、56~62横沼 X X I、63~65横沼 X X II、66~70横沼 X X II、71・72横沼 X X IV、73~80西久保、81~85白前 I、86~93白前 II、94~97白前 II、98~107白前 IV、108~110白前 V、111~114白前 IV、115北野 II、116~124北野 IV、125・126北野 V、127~129北野 VI、130・131北野 VII、132・133北野 VII、134~138北野 IX、139~150北野 X、151北野 XI



1~37本波 WI、38・39本波 WI、40・41本波 XI、42~45長崎、46~49堀切 I、50堀切 II、51桑畑 II、52・53桑畑 XI、54・55桑畑 X VI、56~58・77桑畑 X WI、78桑畑 X WI、59外屋敷 II、60~62・80外屋敷 X V、79外屋敷 X、81・82外屋敷 X VI、63・64向町 II、8向町 IV、65・66保土沢 II、84横沼 X X、67白前 III、68白前 IV、70北野 VI、85~91北野 X、71~76・92~94本波 WI、95長崎

第16図版 採集遺物(4)

久慈市埋蔵文化財調査報告書 第19集

久慈市内遺跡詳細分布調査報告書 VI

平成7年3月発行

発行 久慈市教育委員会

〒028 岩手県久慈市川崎町 1-1 TEL (0194)52-2111

印刷 山口北州印刷株式会社

〒020-01 岩手県盛岡市青山 4-10-5 TEL (0196) 41-0585